

### 3. 投資信託保有状況(全体・現在保有者)

#### (1) 投資信託の保有状況(全体)

投資信託の保有状況を見ると、「現在持っている」は9.8%である。「以前持っていたが、現在は持っていない」は7.0%で、「これまで持ったことがない」が75.6%と大半を占める。

時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別にみると、性別では保有状況に大きな差はみられない。

年代別でみると、「現在持っている」率は年代が上がるにつれて高くなり、60代が19.5%で最も高い。

年収別でみると、1000万円以上の層では「現在持っている」が40.7%と特に高い。

地域別では大きな差はみられない。

#### 問2【投資信託の保有状況(単数回答)／時系列－全体ベース】

	N	保有状況			
		現在持っている	以前持っていたが現在は持っていない	今まで持ったことがない	言葉も知らなかった
平成22年	1514	9.8	7.0	75.6	7.5
平成20年	1507	11.1	4.2	78.4	6.2
平成19年	1517	10.1	5.1	80.4	4.3

#### 問2【投資信託の保有状況(単数回答)／対象者属性別－全体ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

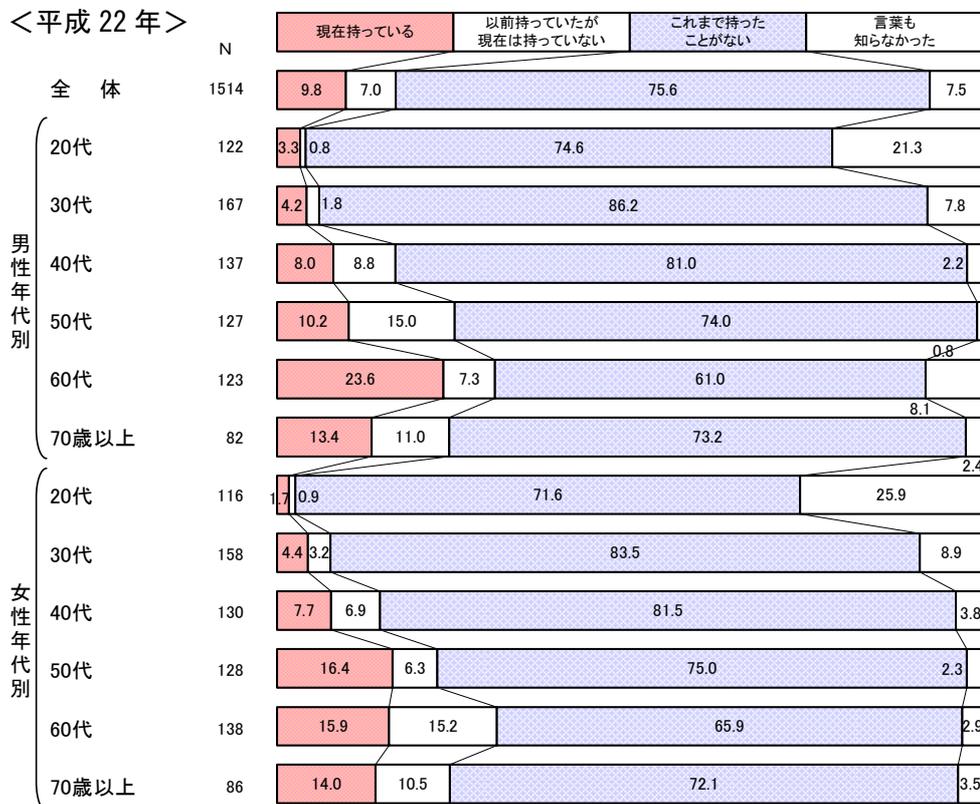
	N	保有状況			
		現在持っている	以前持っていたが現在は持っていない	今まで持ったことがない	言葉も知らなかった
全体	1514	9.8	7.0	75.6	7.5
性別	男性	9.9	7.0	75.9	7.3
	女性	9.8	7.0	75.4	7.8
年代別	20代	2.5	0.8	73.1	23.5
	30代	4.3	2.5	84.9	8.3
	40代	7.9	7.9	81.3	3.0
	50代	13.3	10.6	74.5	1.6
	60代	19.5	11.5	63.6	5.4
	70歳以上	13.7	10.7	72.6	3.0
	年収別	100万円未満	7.6	7.1	74.9
300万円未満		9.4	6.5	75.1	9.0
500万円未満		11.3	5.3	78.9	4.5
800万円未満		9.1	9.6	77.4	3.8
1000万円未満		11.3	13.2	71.7	3.8
1000万円以上		40.7	7.4	51.9	0.0
地域別	首都圏	8.9	7.3	76.7	7.1
	阪神圏	11.2	6.6	74.0	8.2

さらに、性×年代別にみると、「現在持っている」率は男女とも年代が上がるにつれて高くなるが、男性では60代が23.6%で最も高いのに対し、女性では50代以上は15%程度にとどまる。

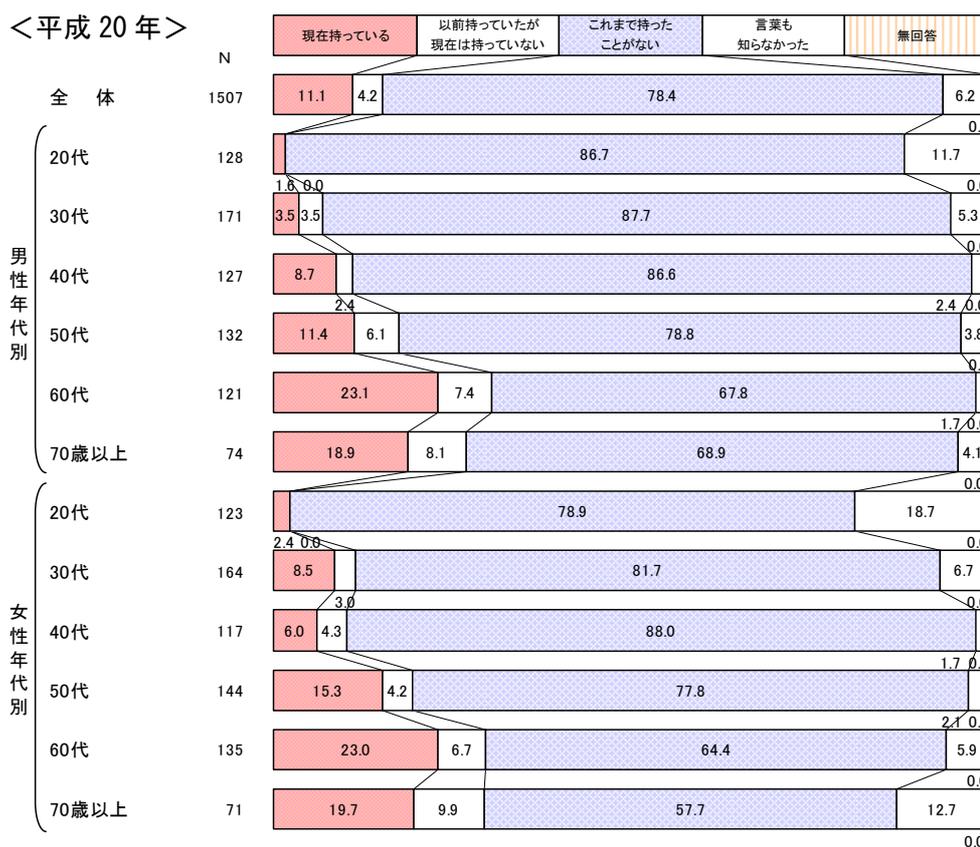
各年代別に時系列でみると、60代では「現在持っている」率は、男性では今回は前回調査とほぼ同水準を維持しているのに対し、女性では前回より低下している。

## 問2【投資信託の保有状況(単数回答)／性×年代別】

<平成22年>



<平成20年>



## (2) 投資信託保有者の特徴(現在保有層)

次に、現在投資信託を保有している人(現在保有層)の特徴をみてみよう。

年齢別構成比は「60代」(34.2%)と「50代」(22.8%)とが他の年代に比べて高く、50代以上が7割強を占めている。時系列でみると、“50代以上”の比率には大きな変化はみられないが、“30代以下”の比率はわずかながら下降傾向がみられる。

職業別構成比では、「無職・その他」が47.7%とほぼ半数を占める。次いで「自営商・サービス業」(16.1%)、「事務系の勤め人」(10.7%)、「技術系の勤め人」(10.1%)の順となっている。

時系列でみると、「自営商・サービス業」比率にわずかながら下降傾向がみられる。

【投資信託現在保有層の年齢別構成比(単数回答)／時系列】

	N	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
平成22年	149	4.0	9.4	14.1	22.8	34.2	15.4	0.0
平成20年	167	3.0	12.0	10.8	22.2	35.3	16.8	0.0
平成19年	153	6.5	11.8	13.7	26.8	27.5	13.7	0.0

【投資信託現在保有層の職業別構成比(単数回答)／時系列】

	N	農・林・漁業者	自営商・サービス業	製造・修理・加工業	自由業	事務系の勤め人	技術系の勤め人	労務系の勤め人	管理職・役員	学生	無職・その他	無回答
平成22年	149	16.1	3.4	10.7	10.1	3.4	7.4	47.7	0.0	0.0	0.0	
平成20年	167	19.2	1.3	12.6	4.2	3.6	5.4	53.3	0.0	0.0	0.0	
平成19年	153	22.9	0.7	2.0	9.8	9.2	4.6	7.8	41.2	0.7	0.0	

### (3) 投資信託の保有種類(現在保有層)

現在保有層における投資信託保有種類としては、「株式投資信託」が68.5%で最も高く、「外国で作られた投資信託」(36.9%)と「公社債投資信託」(34.9%)がほぼ同率で続いている。

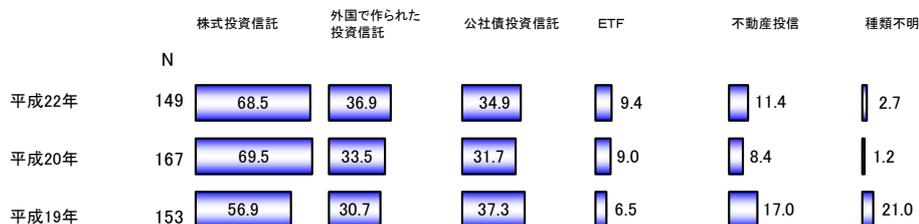
投資信託保有種類数を回答サンプルで除して平均保有種類数を求めると、1.61種類である。

時系列でみると、前々回から前回にかけて保有率が変化したものはあるが、前回から今回にかけては大きな変化がみられるものはない。

性別でみると、「公社債投資信託」の保有率は女性より男性の方が高く、平均保有種類数も男性の方が女性を上回っている。

なお、参考までに、投資信託の種類別保有率を調査対象全体ベースに換算すると、「株式投資信託」は6.7%となる。

#### 問3①【投資信託の保有種類(重複回答)／時系列－現在保有層ベース】



#### 問3①【投資信託の保有種類(重複回答)／対象者属性別－現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	株式投資信託	外国で作られた投資信託	公社債投資信託	ETF	不動産投信	種類不明	平均保有種類数	
全 体	149 100.0	102 68.5	55 36.9	52 34.9	14 9.4	17 11.4	4 2.7	1.61	
性別	男 性	75 100.0	49 65.3	27 36.0	30 40.0	8 10.7	11 14.7	4 5.3	1.67
	女 性	74 100.0	53 71.6	28 37.8	22 29.7	6 8.1	6 8.1	-	1.55
年 代 別	20代	6 100.0	3 50.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1.83
	30代	14 100.0	11 78.6	5 35.7	3 21.4	3 21.4	1 7.1	-	1.64
	40代	21 100.0	16 76.2	9 42.9	7 33.3	2 9.5	-	1	1.62
	50代	34 100.0	22 64.7	14 41.2	12 35.3	4 11.8	4 11.8	-	1.65
	60代	51 100.0	35 68.6	19 37.3	17 33.3	4 7.8	6 11.8	2	1.59
	70歳以上	23 100.0	15 65.2	5 21.7	11 47.8	-	4 17.4	-	1.52
	年 収 別	100万円未満	31 100.0	26 83.9	10 32.3	6 19.4	2 6.5	3 9.7	-
300万円未満		39 100.0	26 66.7	10 25.6	12 30.8	3 7.7	4 10.3	1	1.41
500万円未満		30 100.0	17 56.7	15 50.0	12 40.0	2 6.7	4 13.3	-	1.67
800万円未満		19 100.0	11 57.9	6 31.6	9 47.4	2 10.5	2 10.5	2	1.58
1000万円未満		6 100.0	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	1 16.7	-	2.17
1000万円以上		11 100.0	9 81.8	6 54.5	6 54.5	3 27.3	3 27.3	-	2.45

#### 問3①【投資信託種類別保有率(重複回答)／時系列－全体ベース】

(%)

	全 体	株式投資信託	外国で作られた投資信託	公社債投資信託	ETF	不動産投信	種類不明
平成22年	1514	6.7	3.6	3.4	0.9	1.1	0.3
平成20年	1507	7.7	3.7	3.5	1.0	0.9	0.1
平成19年	1517	5.7	3.1	3.8	0.7	1.7	0.7

#### (4) 投資信託の購入額(現在保有層)

現在保有層における投資信託の保有種類別平均購入額をみると、「株式投資信託」は 307.9 万円であり、「外国で作られた投資信託」(275.9 万円)や「公社債投資信託」(253.9 万円)を上回っている。

前回調査の平均購入額と比べると、「株式投資信託」は約 38 万円減少し、「外国で作られた投資信託」は約 28 万円増加しているが、動きとしてはそれほど大きくはない。

なお、1人あたりの合計購入額の平均は 410.1 万円であり、前回調査とほぼ同水準となっている。

#### 問3②【保有種類別投資額—現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	100万円未満	300万円未満	500万円未満	800万円未満	1000万円未満	1000万円以上	投資額不明
株式投資信託	102 <b>100.0</b>	32 <b>31.4</b>	33 <b>32.4</b>	18 <b>17.6</b>	8 <b>7.8</b>	6 <b>5.9</b>	4 <b>3.9</b>	1 <b>1.0</b>
公社債投資信託	52 <b>100.0</b>	22 <b>42.3</b>	14 <b>26.9</b>	10 <b>19.2</b>	2 <b>3.8</b>	1 <b>1.9</b>	2 <b>3.8</b>	1 <b>1.9</b>
外国で作られた投資信託	55 <b>100.0</b>	23 <b>41.8</b>	20 <b>36.4</b>	4 <b>7.3</b>	1 <b>1.8</b>	2 <b>3.6</b>	4 <b>7.3</b>	1 <b>1.8</b>
不動産投信	17 <b>100.0</b>	6 <b>35.3</b>	4 <b>23.5</b>	3 <b>17.6</b>	-	-	2 <b>11.8</b>	-
ETF	14 <b>100.0</b>	6 <b>42.9</b>	7 <b>50.0</b>	-	1 <b>7.1</b>	-	-	-
合計購入額	149 <b>100.0</b>	30 <b>20.1</b>	40 <b>26.8</b>	36 <b>24.2</b>	14 <b>9.4</b>	6 <b>4.0</b>	13 <b>8.7</b>	10 <b>6.7</b>

時系列 平均投資額(万円)

(上段:万円)(下段:人)

	H22年	H20年	H19年
株式投資信託	<b>307.9</b> 102	<b>345.2</b> 116	<b>342.9</b> 87
公社債投資信託	<b>253.9</b> 52	<b>249.0</b> 53	<b>259.8</b> 57
外国で作られた投資信託	<b>275.9</b> 55	<b>248.2</b> 56	<b>390.4</b> 47
不動産投信	<b>400.0</b> 17	<b>328.6</b> 14	<b>332.0</b> 26
ETF	<b>167.9</b> 14	<b>396.4</b> 15	<b>320.0</b> 10
合計購入額	<b>410.1</b> 149	<b>412.9</b> 167	<b>432.2</b> 153

(5) 株式投資信託の保有種類と購入額(現在保有層のうち株式投資信託保有者)

現在保有層のうち、株式投資信託保有者が保有している株式投資信託の種類は「国内株式に主に投資する株式投信」(50.0%)と「外国債券に主に投資する株式投信」(45.1%)が高く、次いで「様々な資産に投資する株式投信」(27.5%)と「外国株式に主に投資する株式投信」(24.5%)が続く。

時系列でみると、「国内株式に主に投資する株式投信」保有率は前回調査に比べて上昇し、前々回と同水準となっている。

株式投資信託の保有種類数を回答サンプルで除して平均保有種類数を求めると、1.70種類であり、時系列でみても大きな変化はみられない。

また、対象者属性別では、性別でみても大きな差はみられない。

なお、株式投資信託の保有種類別に投資額をみると、「国内株式に主に投資する株式投信」は266.7万円であり、「外国債券に主に投資する株式投信」(301.1万円)などとなっている。

問4①

【株式投資信託の種類別保有率(重複回答)／時系列

－現在保有層・株式投資信託保有者ベース

(上段:N)(下段:%)

	全 体	国内株式に主に投資する株式投信	外国債券に主に投資する株式投信	様々な資産に投資する株式投信	外国株式に主に投資する株式投信	不動産投信に主に投資する株式投信	その他	投資先不明	平均保有種類数
平成22年	102 100.0	51 50.0	46 45.1	28 27.5	25 24.5	15 14.7	8 7.8	1 1.0	1.70
平成20年	116 100.0	48 41.4	52 44.8	37 31.9	30 25.9	11 9.5	5 4.3	1 0.9	1.59
平成19年	87 100.0	45 51.7	28 32.2	17 19.5	13 14.9	9 10.3	3 3.4	15 17.2	1.60

問4①【株式投資信託の種類別保有率(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・株式投資信託保有者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	国内株式に主に投資する株式投信	外国債券に主に投資する株式投信	様々な資産に投資する株式投信	外国株式に主に投資する株式投信	不動産投信に主に投資する株式投信	その他	投資先不明	平均保有種類数
全 体	102 100.0	51 50.0	46 45.1	28 27.5	25 24.5	15 14.7	8 7.8	1 1.0	1.70
性別									
男 性	49 100.0	24 49.0	24 49.0	13 26.5	14 28.6	9 18.4	7 14.3	1 2.0	1.86
女 性	53 100.0	27 50.9	22 41.5	15 28.3	11 20.8	6 11.3	1 1.9	-	1.55
年代別									
20代	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	2 66.7	2 66.7	-	-	3.00
30代	11 100.0	7 63.6	5 45.5	2 18.2	5 45.5	3 27.3	1 9.1	-	2.09
40代	16 100.0	5 31.3	8 50.0	6 37.5	3 18.8	1 6.3	2 12.5	-	1.56
50代	22 100.0	9 40.9	11 50.0	5 22.7	8 36.4	3 13.6	3 13.6	-	1.77
60代	35 100.0	20 57.1	11 31.4	13 37.1	5 14.3	6 17.1	1 2.9	1 2.9	1.60
70歳以上	15 100.0	8 53.3	9 60.0	1 6.7	2 13.3	-	1 6.7	-	1.40
年収別									
100万円未満	26 100.0	9 34.6	12 46.2	7 26.9	8 30.8	3 11.5	1 3.8	-	1.54
300万円未満	26 100.0	17 65.4	10 38.5	7 26.9	2 7.7	2 7.7	1 3.8	-	1.50
500万円未満	17 100.0	8 47.1	8 47.1	5 29.4	3 17.6	3 17.6	-	1 5.9	1.59
800万円未満	11 100.0	5 45.5	7 63.6	2 18.2	5 45.5	3 27.3	1 9.1	-	2.09
1000万円未満	6 100.0	3 50.0	3 50.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	-	2.33
1000万円以上	9 100.0	4 44.4	5 55.6	3 33.3	5 55.6	2 22.2	2 22.2	-	2.33

問4②【株式投資信託の保有種類別投資額－現在保有層・株式投資信託保有者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	100万円未満	300万円未満	500万円未満	800万円未満	1000万円未満	1000万円以上	投資額不明	平均投資額 (万円)
国内株式に主に 投資する株式投信	51 100.0	22 43.1	16 31.4	5 9.8	2 3.9	4 7.8	2 3.9	-	266.7
外国債券に主に 投資する株式投信	46 100.0	18 39.1	11 23.9	10 21.7	3 6.5	-	3 6.5	1 2.2	301.1
様々な資産に 投資する株式投信	28 100.0	9 32.1	10 35.7	5 17.9	1 3.6	2 7.1	1 3.6	-	289.3
外国株式に主に 投資する株式投信	25 100.0	14 56.0	7 28.0	1 4.0	-	-	2 8.0	1 4.0	229.2
不動産投信に主に 投資する株式投信	15 100.0	6 40.0	4 26.7	3 20.0	-	1 6.7	1 6.7	-	303.3
その他	8 100.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	-	381.3

## 4. 投資信託購入状況(現在保有層・保有経験層)

### (1) 投資信託購入のきっかけ

投資信託を購入したきっかけは、「証券会社や銀行等の person から勧められて」が 58.0%で最も高く、他のきっかけに大きな差をつけている。以下、「家族・友人から良いという話を聞いて」(23.5%)、「商品広告等を見て良さそうだったので」(14.1%)、「新聞や雑誌記事等で良さそうだった」(10.6%)、「電話案内やDMが送られてきたので」(9.4%)が続いている。

時系列でも、大きな変化がみられる項目はない。

対象者属性別にみると、性別では「証券会社や銀行等の person から勧められて」は男性より女性の方が高いが、男性では「インターネットで良さそうだった」「投資信託を解説した本を読んで」などをはじめ、女性より高い項目が多く、多様なきっかけから購入しているといえる。

年代別では、「証券会社や銀行等の person から勧められて」は年代が上がるほど高い傾向がみられ、50代以上では他の理由に比べて特に高い。70代以上では他の年代に比べて「新聞や雑誌記事等で良さそうだった」が高く、「友人・知人から良いという話を聞いて」は低い。

年収別では、“500万円未満”の層では「証券会社や銀行等の person から勧められて」が高く、他の理由を大きく上回っているが、500万円以上800万円未満の層では「証券会社や銀行等の person から勧められて」が低く、「家族・友人から良いという話を聞いて」「電話案内やDMが送られてきたので」が高い。“800万円以上”の層はN数(サンプル数)が少ないため参考データとなるが、「商品広告等を見て良さそうだった」「インターネットで良さそうだった」など多様なきっかけから購入している。

地域別では、大きな差がみられる項目はない。

投資信託保有状況別でみると、いずれの項目とも現在保有層と保有経験層では大きな差はみられない。

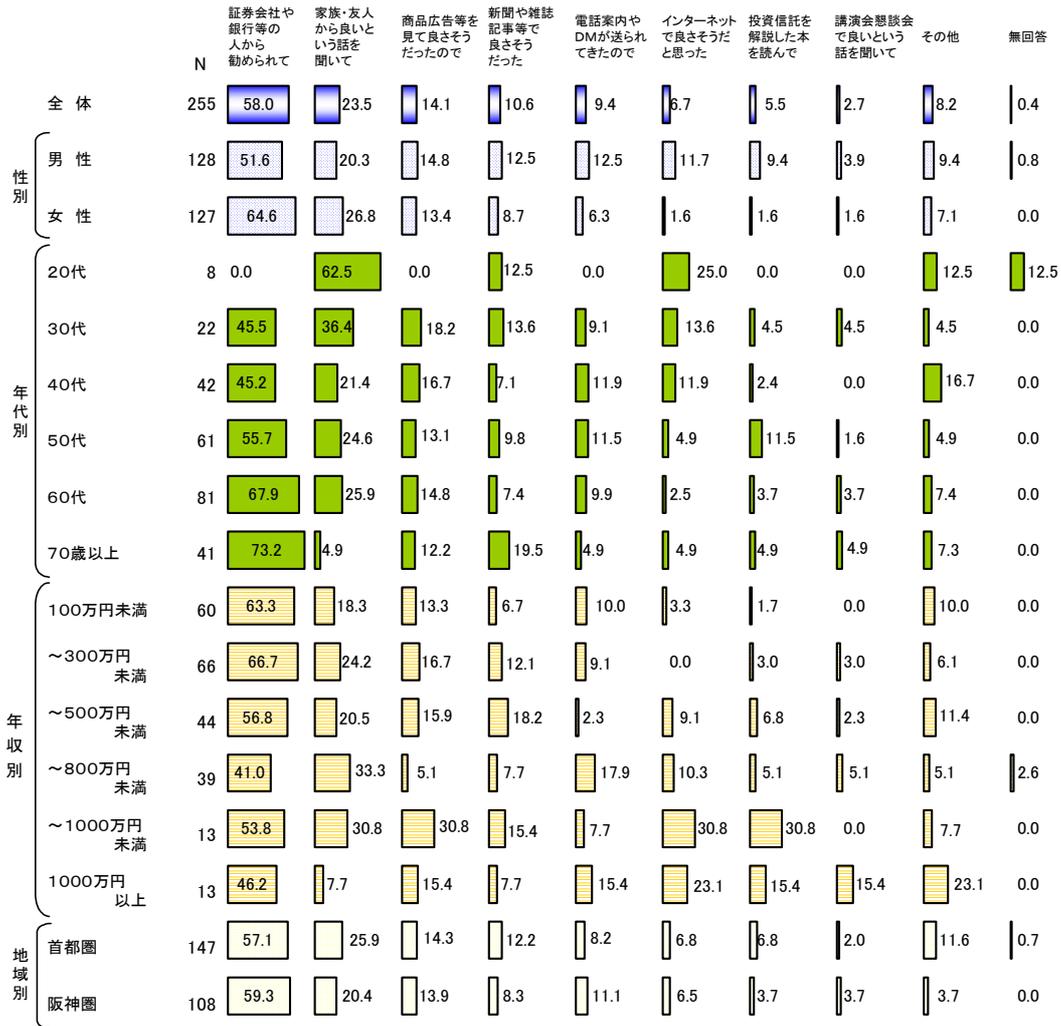
投資信託保有種類別では、N数(サンプル数)が少ない層があるため参考データとなるが、株式投資信託保有層・公社債投資信託保有層に比べてその他投資信託保有層では「証券会社や銀行等の person から勧められて」がやや高い。

問7【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

	N	証券会社や銀行等の person から勧められて	家族・友人から良いという話を聞いて	商品広告等を見て良さそうだったので	新聞や雑誌記事等で良さそうだった	電話案内やDMが送られてきたので	インターネットで良さそうだった	投資信託を解説した本を読んで	講演会懇談会で良いという話を聞いて	その他	無回答
平成22年	255	58.0	23.5	14.1	10.6	9.4	6.7	5.5	2.7	8.2	0.4
平成20年	231	58.0	26.8	11.7	15.6	11.7	7.4	9.1	3.9	5.6	0.4
平成19年	230	59.6	22.2	14.8	11.3	8.7	5.2	5.7	3.9	4.8	2.2

問7【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

※ N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



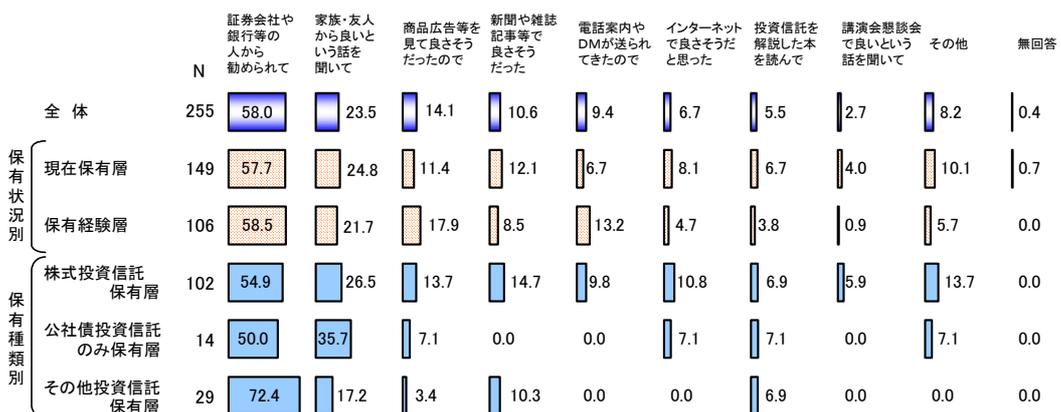
問7【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

注)投資信託保有種類別については回答結果をもとに以下のグループに分類した。

- ①『株式投資信託保有層』=株式投資信託保有者
- ②『公社債投資信託のみ保有層』=「公社債投資信託」のみ保有者(①は除く)
- ③『その他投資信託保有層』=①と②を除く投資信託保有者

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



## (2) 販売員の説明・勧誘方法

### ①販売員の説明・勧誘方法への満足状況

投資信託を購入した際の販売員の説明・勧誘方法への満足状況は、「とても満足した」は3.5%、「まあ満足した」は35.7%であり、これらを合わせた“満足層”は39.2%を占める。

一方、「あまり満足しなかった」(8.2%)と「まったく満足しなかった」(4.3%)を合わせた“不満層”は12.5%に留まる。「とても満足した」から「まったく満足しなかった」まで、5点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、3.3点となった。

時系列でみると、前回に比べて「まあ満足した」が15.4ポイント減ったため、“満足層”の割合も大きく減少した。

対象者属性別にみると、“満足層”は男性より女性の方が高い。

年代別では、“満足層”は40代以上の年代でみると60代が高く、40～50代を上回る。N数(サンプル数)が少ないため参考データではあるが、30代では“満足層”が半数を占め、高い。

年収別では、“満足層”は100万円未満の層で最も高く、500万円未満の層までは年収が高くなるにつれて低下する傾向がみられる。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層の方が保有経験層に比べて“満足層”比率が高い。

投資信託保有種類別では、N数(サンプル数)が少ない層があるため参考データとなるが、“満足層”比率は株式投資信託保有層とその他投資信託保有層ではほぼ同水準である。

### 問8【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)／時系列

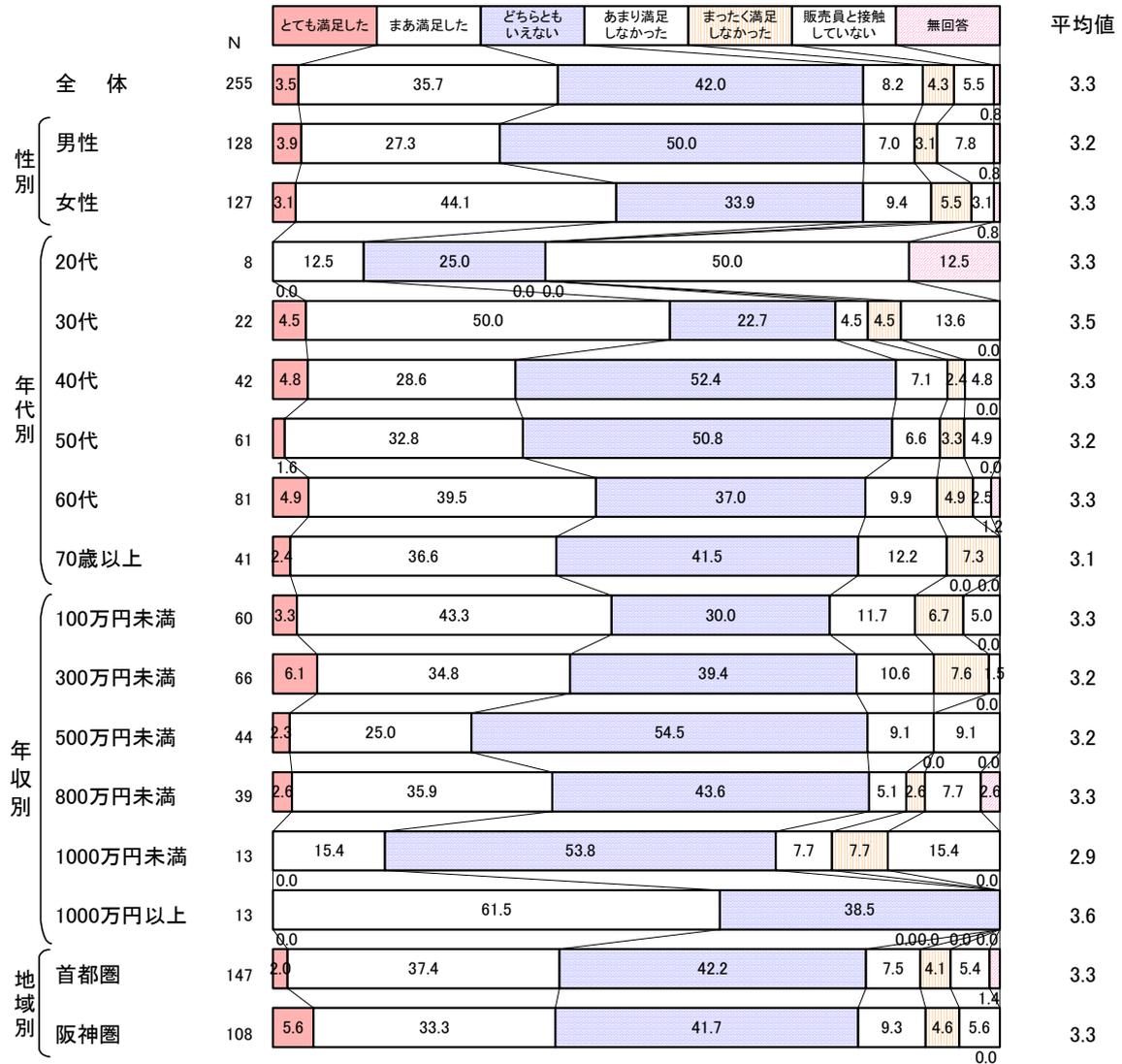
#### ー現在保有層・保有経験層ベース】

	N	とても満足した	まあ満足した	どちらとも いえない	あまり満足 しなかった	まったく満足 しなかった	販売員と接触 していない	無回答	平均値
平成22年	255	3.5	35.7		42.0	8.2	4.3	5.5	3.3
平成20年	231	3.9	51.1		33.8	6.5	2.6	0.8	3.5
平成19年	230	5.2	43.9		36.1	4.8	3.0	4.3	3.5

問 8 【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)】／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

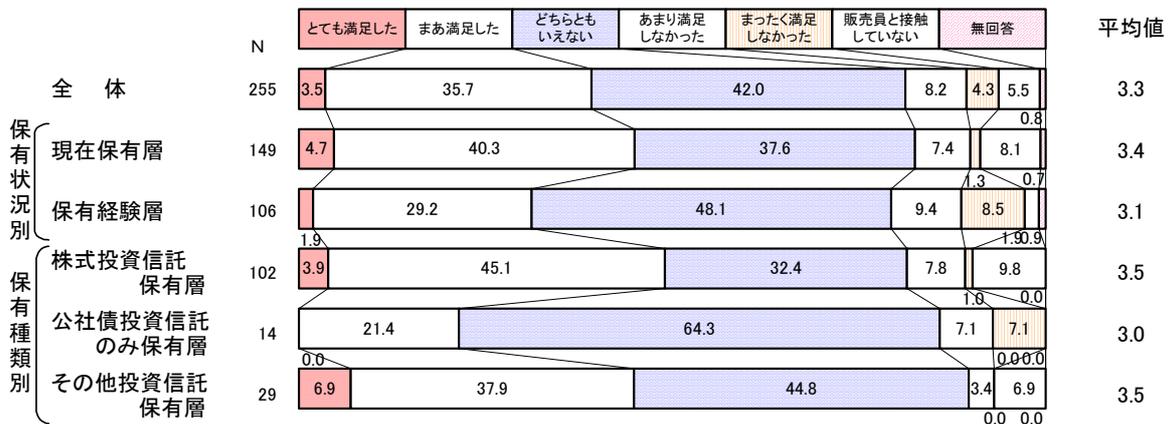
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 8 【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)】／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



②販売員の説明・勧誘方法への満足理由(現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者)

現在保有層・保有経験層のうち、販売員の説明・勧誘方法に“満足”した人に満足した理由を尋ねたところ、「商品のリスクもきちんと説明した」(50.0%)と「商品の魅力をわかりやすく説明した」(49.0%)がほぼ同率で特に高い。次いで「自分のニーズにあった商品を勧めた」(30.0%)、「質問にきちんと答えてくれた」(23.0%)の順となっている。

時系列でみると、「商品のリスクもきちんと説明した」は前回より11.4ポイント低下したが、「自分のニーズにあった商品を勧めた」が8.0ポイント、「商品の魅力をわかりやすく説明した」が6.5ポイントそれぞれ上がった。

対象者属性別にみると、「商品の魅力をわかりやすく説明した」は女性で、「質問にきちんと答えてくれた」は男性で高い。

地域別では、「自分のニーズにあった商品を勧めた」は首都圏で、「商品のリスクもきちんと説明した」は阪神圏でやや高くなっている。

投資信託保有状況別にみると、「質問にきちんと答えてくれた」は現在保有層で、「自分のニーズにあった商品を勧めた」は保有経験層でやや高い。

問8-1【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)／時系列

—現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース

	N	商品のリスクも きちんと説明した	商品の魅力を わかりやすく説明した	自分のニーズに あった商品を勧めた	質問にきちんと 答えてくれた	その他	無回答
平成22年	100	50.0	49.0	30.0	23.0	1.0	0.0
平成20年	127	61.4	42.5	22.0	26.0	0.8	0.8
平成19年	113	63.7	58.4	23.0	20.4	0.9	0.0

問8-1【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)／対象者属性別

—現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

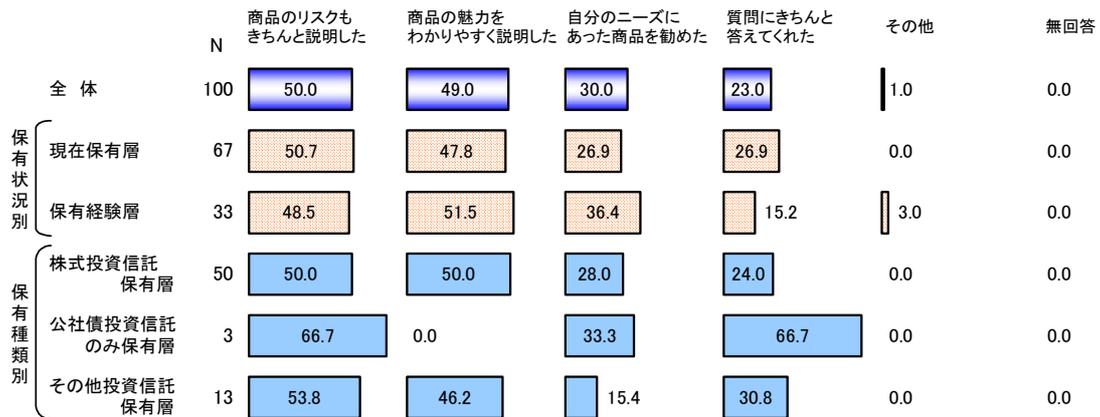
(上段:N)(下段:%)

	全 体	商品のリスク もきちんと 説明した	商品の魅力を わかりやすく 説明した	自分のニーズ にあった商品 を勧めた	質問に きちんと 答えてくれた	その他	無回答
全 体	100 100.0	50 50.0	49 49.0	30 30.0	23 23.0	1 1.0	-
性別							
男 性	40	20	16	14	13	-	-
	100.0	50.0	40.0	35.0	32.5	-	-
女 性	60	30	33	16	10	1	-
	100.0	50.0	55.0	26.7	16.7	1.7	-
年代別							
20代	1	-	1	-	1	-	-
	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-
30代	12	6	6	5	3	-	-
	100.0	50.0	50.0	41.7	25.0	-	-
40代	14	7	5	5	4	1	-
	100.0	50.0	35.7	35.7	28.6	7.1	-
50代	21	13	8	7	5	-	-
	100.0	61.9	38.1	33.3	23.8	-	-
60代	36	18	20	8	7	-	-
	100.0	50.0	55.6	22.2	19.4	-	-
70歳以上	16	6	9	5	3	-	-
	100.0	37.5	56.3	31.3	18.8	-	-
年収別							
100万円未満	28	17	18	6	1	1	-
	100.0	60.7	64.3	21.4	3.6	3.6	-
300万円未満	27	10	14	8	9	-	-
	100.0	37.0	51.9	29.6	33.3	-	-
500万円未満	12	7	4	3	4	-	-
	100.0	58.3	33.3	25.0	33.3	-	-
800万円未満	15	5	6	8	4	-	-
	100.0	33.3	40.0	53.3	26.7	-	-
1000万円未満	2	2	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-
1000万円以上	8	4	3	3	3	-	-
	100.0	50.0	37.5	37.5	37.5	-	-
地域別							
首都圏	58	27	29	20	14	1	-
	100.0	46.6	50.0	34.5	24.1	1.7	-
阪神圏	42	23	20	10	9	-	-
	100.0	54.8	47.6	23.8	21.4	-	-

問 8 - 1 【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



③販売員の説明・勧誘方法への不満理由(現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法不満者)

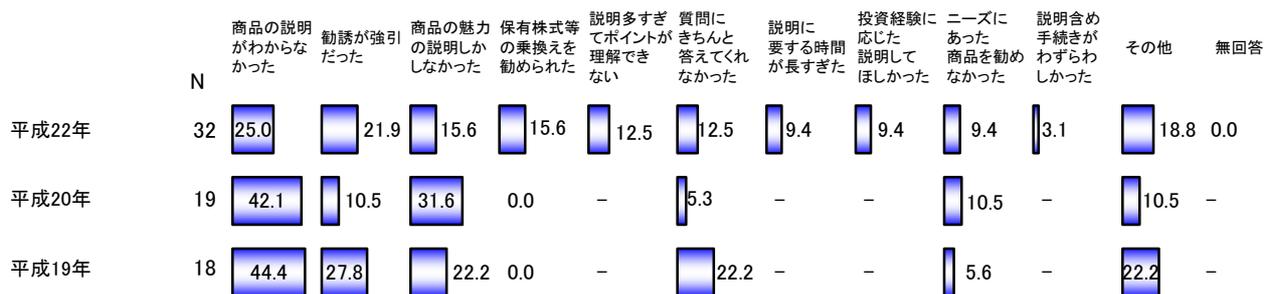
販売員の説明・勧誘方法に“不満”だった人に不満理由を尋ねると、「商品の説明がわからなかった」(25.0%)と「勧誘が強引だった」(21.9%)が高く、次いで「商品の魅力の説明がしなかった」と「保有株式等の乗り換えを勧められた」(ともに 15.6%)などが続く。一方、「説明を含めた手続きがわずらわしかった」は 3.1%に留まる。

時系列比較は、N数(サンプル数)が少ないため、参考データとして提示するに留める。

問 8 - 2 【販売員の説明・勧誘への不満理由(重複回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層のうち、説明・勧誘方法不満者ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



※「説明を受ける事項が多すぎて重要なポイントが理解できなかった」「説明に要する時間が長すぎた」「投資経験に応じた説明をしてほしかった」「説明を含めた手続きがわずらわしかった」は今回から追加したもの。

### (3) 投資信託購入の際の重視点／今後の重視点

投資信託を購入する際の重視点は、「安全性の高さ」(45.9%)と「値上がり期待」(42.0%)が特に高く、次いで「過去の運用実績」(30.6%)が続く。「特に考えずに勧めで」購入した人は6.7%のみである。

今後重視したい点としては、「安全性の高さ」が60.0%で特に高く、次いで「値上がり期待」(40.4%)が続く。これら以外の項目の重視度は20%程度以下に留まる。

購入の際の重視点と今後重視したい点を比較すると、購入の際には、「過去の運用実績」や「過去の分配金額」「分配頻度の多さ」など、購入にあたっての判断材料としやすい指標が重視され、実際に保有してからの重視点(今後の重視点)では、「安全性の高さ」の比率がより高くなり、加えて「手数料や信託報酬の水準」といったランニングコスト面にも関心が高まる傾向がみられる。

対象者属性別でみると、性別では、購入の際の重視点、今後の重視点ともに「値上がり期待」と「過去の運用実績」は女性より男性の方が高い。また、購入の際の重視点では「分配の頻度の多さ」は女性の方が高い。

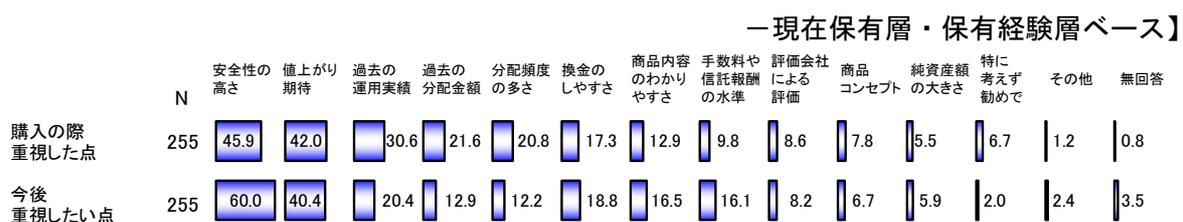
年代別にみると、購入の際の重視点は50代では他の年代に比べて「安全性の高さ」が高く、「値上がり期待」が低い。また、60代は「値上がり期待」の方が「安全性の高さ」より重視度が高い。なお、今後の重視点では購入の際の重視点ほど大きな年代差はみられない。

年収別では、購入の際の重視点、今後の重視点ともに、N数(サンプル数)が少ない層があるため参考データではあるが「過去の運用実績」は年収が高いほど高い傾向がみられる。

投資信託保有状況別にみると、購入の際の重視点としては、現在保有層は保有経験層に比べて「分配の頻度の多さ」は高いが、「換金のしやすさ」「商品内容のわかりやすさ」は低い。今後の重視点としても同様の結果がみられる。「過去の分配金額」は購入の際・今後とも現在保有層の方が高い。

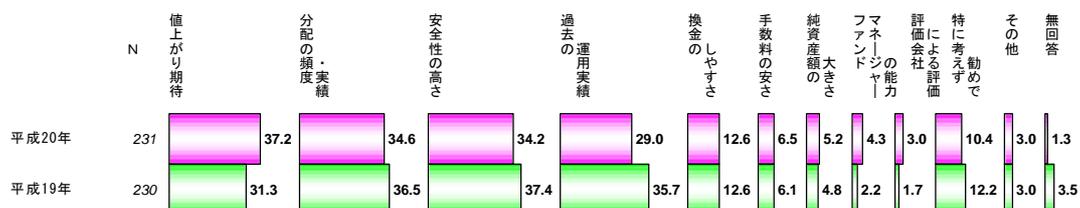
投資信託保有種類別では、いずれの重視度とも、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層に比べて「過去の運用実績」が高いが、「値上がり期待」は低い。

#### 問9①②【投資信託購入の際の重視点&今後重視したい点(重複回答)】



#### 【参考】

#### 【投資信託購入の決め手(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】



問9①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	商品コンセプト	純資産額の大きさ	特に考えず勤めて	その他	無回答
全体	255	45.9	42.0	30.6	21.6	20.8	17.3	12.9	9.8	8.6	7.8	5.5	6.7	1.2	0.8
性別															
男性	128	43.8	46.1	37.5	21.9	16.4	18.8	12.5	12.5	10.9	8.6	7.8	3.9	0.8	0.8
女性	127	48.0	37.8	23.6	21.3	25.2	15.7	13.4	7.1	6.3	7.1	3.1	9.4	1.6	0.8
年代別															
20代	8	25.0	50.0	0.0	0.0	37.5	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
30代	22	50.0	27.3	27.3	31.8	18.2	9.1	18.2	22.7	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0
40代	42	40.5	42.9	35.7	21.4	19.0	19.0	14.3	14.3	9.5	16.7	7.1	4.8	0.0	0.0
50代	61	59.0	34.4	39.3	19.7	19.7	19.7	18.0	11.5	3.3	3.3	4.9	6.6	0.0	0.0
60代	81	40.7	50.6	30.9	22.2	23.5	18.5	8.6	6.2	14.8	8.6	2.5	1.2	2.5	1.2
70歳以上	41	43.9	41.5	19.5	22.0	17.1	17.1	7.3	2.4	2.4	4.9	2.4	19.5	2.4	0.0
年収別															
100万円未満	60	45.0	43.3	25.0	20.0	18.3	11.7	13.3	3.3	6.7	10.0	5.0	11.7	1.7	0.0
～300万円未満	66	50.0	36.4	25.8	19.7	27.3	22.7	12.1	4.5	9.1	3.0	1.5	9.1	0.0	0.0
～500万円未満	44	38.6	59.1	34.1	20.5	22.7	20.5	6.8	11.4	11.4	9.1	9.1	2.3	2.3	0.0
～800万円未満	39	46.2	35.9	35.9	30.8	17.9	12.8	20.5	12.8	10.3	5.1	7.7	7.7	2.6	2.6
～1000万円未満	13	23.1	30.8	46.2	30.8	23.1	7.7	15.4	15.4	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0
1000万円以上	13	69.2	30.8	53.8	30.8	23.1	15.4	7.7	23.1	0.0	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0

問9①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

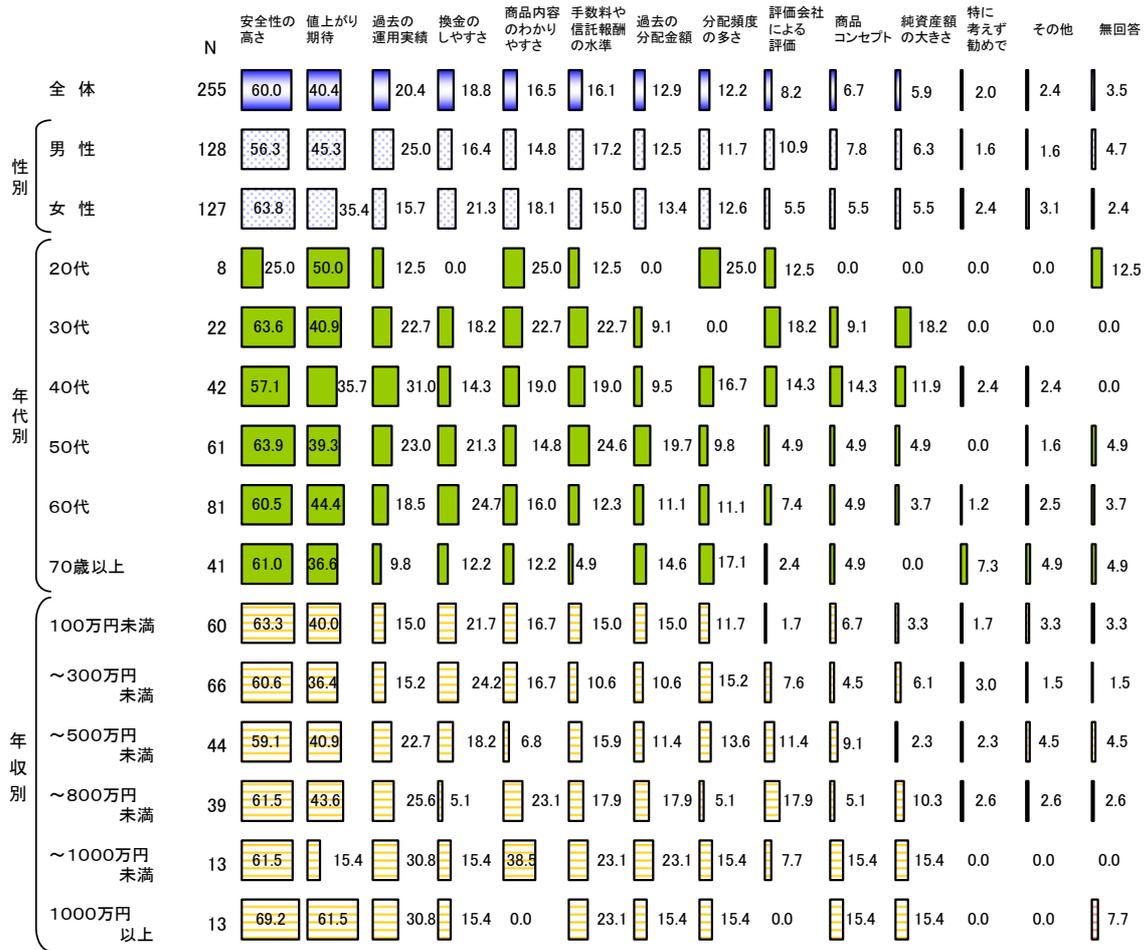
※ N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	商品コンセプト	純資産額の大きさ	特に考えず勤めて	その他	無回答
全体	255	45.9	42.0	30.6	21.6	20.8	17.3	12.9	9.8	8.6	7.8	5.5	6.7	1.2	0.8
保有状況別															
現在保有層	149	47.7	40.9	32.2	24.8	28.2	10.7	8.7	12.8	8.1	8.1	8.1	5.4	2.0	0.7
保有経験層	106	43.4	43.4	28.3	17.0	10.4	26.4	18.9	5.7	9.4	7.5	1.9	8.5	0.0	0.9
保有種類別															
株式投資信託保有層	102	47.1	38.2	38.2	25.5	29.4	11.8	5.9	15.7	6.9	11.8	9.8	4.9	2.0	0.0
公社債投資信託のみ保有層	14	57.1	21.4	28.6	21.4	14.3	0.0	28.6	0.0	21.4	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
その他投資信託保有層	29	48.3	58.6	13.8	27.6	34.5	13.8	10.3	6.9	3.4	0.0	6.9	6.9	0.0	0.0

問9②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

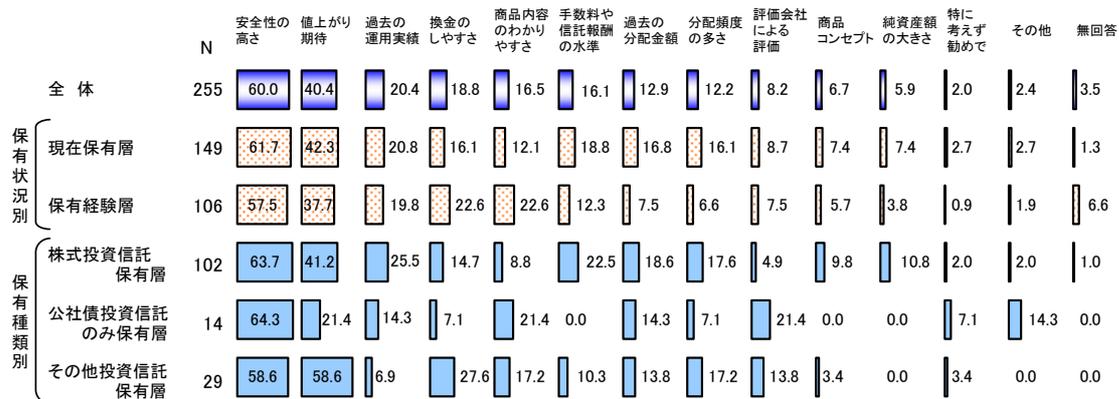
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問9②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



#### (4) 投資信託の購入資金

投資信託の購入資金は、「定期性の預貯金等から」が 44.3%で特に高く、次いで「月々の収入から」が 30.2%で続く。他にも「ボーナスから」「退職金・相続等の臨時収入から」も 10% 強みられる。

時系列で見ると、「定期性の預貯金等から」は前回より 8.5ポイント低くなり、前々回の水準に戻った。

対象者属性別にみると、「定期性の預貯金等から」は男性より女性が高く、「月々の収入から」は男性の方が高い。

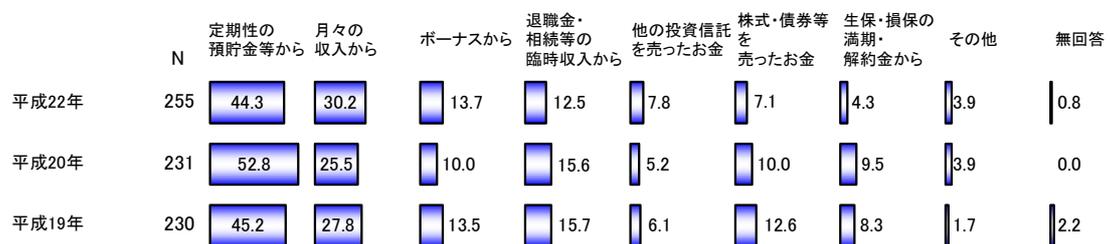
年代別では、40代以下では「月々の収入から」が「定期性の預貯金等から」を上回るが、60代以上では「定期性の預貯金等から」の方が圧倒的に高い。「ボーナスから」は40代で最も高く、「退職金・相続等の臨時収入から」は60代で特に高い。

年収別では、年収が“500万円未満”の層では「定期性の預貯金等から」が主であるが、“500万円以上”の層では「月々の収入から」の方が高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べて「退職金・相続等の臨時収入から」や「他の投資信託を売ったお金」が高く、「月々の収入から」や「ボーナスから」は低い。

投資信託保有種類別で見ると、投資信託保有層では他の層に比べて「退職金・相続等の臨時収入から」が高い。その他投資信託保有層は「定期性の預貯金等から」が主であり、「月々の収入から」等他の資金での購入率は低い。

問6【投資信託の購入資金(重複回答)】時系列—現在保有層・保有経験層ベース



問6【投資信託の購入資金(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	定期性の 預貯金等から	月々の 収入から	ボーナスから	退職金・ 相続等の 臨時収入から	他の投資信託 を売ったお金	株式・債券等 を売ったお金	生保・損保の 満期・ 解約金から	その他	無回答
全体	255	44.3	30.2	13.7	12.5	7.8	7.1	4.3	3.9	0.8
性別										
男性	128	38.3	35.2	13.3	14.8	5.5	8.6	3.9	3.9	1.6
女性	127	50.4	25.2	14.2	10.2	10.2	5.5	4.7	3.9	0.0
年代別										
20代	8	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
30代	22	40.9	59.1	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	42	31.0	40.5	23.8	4.8	4.8	7.1	2.4	4.8	0.0
50代	61	36.1	27.9	16.4	11.5	8.2	3.3	8.2	4.9	0.0
60代	81	51.9	23.5	7.4	22.2	9.9	12.3	3.7	3.7	1.2
70歳以上	41	56.1	22.0	14.6	9.8	12.2	7.3	4.9	4.9	0.0
年収別										
100万円未満	60	43.3	30.0	10.0	10.0	6.7	6.7	6.7	5.0	0.0
～300万円 未満	66	50.0	28.8	16.7	15.2	10.6	6.1	3.0	3.0	0.0
～500万円 未満	44	45.5	22.7	6.8	15.9	11.4	15.9	4.5	2.3	0.0
～800万円 未満	39	28.2	38.5	25.6	10.3	7.7	0.0	5.1	0.0	2.6
～1000万円 未満	13	30.8	46.2	15.4	7.7	0.0	15.4	7.7	7.7	0.0
1000万円 以上	13	30.8	53.8	23.1	23.1	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0

問6【投資信託の購入資金(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	定期性の 預貯金等から	月々の 収入から	ボーナスから	退職金・ 相続等の 臨時収入から	他の投資信託 を売ったお金	株式・債券等 を売ったお金	生保・損保の 満期・ 解約金から	その他	無回答
全体	255	44.3	30.2	13.7	12.5	7.8	7.1	4.3	3.9	0.8
保有状況別										
現在保有層	149	45.0	24.2	8.7	18.8	12.1	7.4	4.0	5.4	1.3
保有経験層	106	43.4	38.7	20.8	3.8	1.9	6.6	4.7	1.9	0.0
保有種類別										
株式投資信託 保有層	102	43.1	25.5	9.8	23.5	12.7	7.8	4.9	7.8	0.0
公社債投資信託 のみ保有層	14	35.7	35.7	0.0	14.3	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0
その他投資信託 保有層	29	55.2	17.2	10.3	6.9	13.8	10.3	0.0	0.0	0.0

## (5) 投資信託の購入目的

投資信託を購入した目的は、「特に目的はないが資金を増やしたいため」(38.8%)と「老後の生活資金」(31.8%)が特に高い。次いで「資産のリスク分散」が21.2%で続く。

時系列で見ると、「資産のリスク分散」が前回より6.9ポイント低下し、前々回と同水準に戻っている。

対象者属性別にみると、性別では、「資産のリスク分散」が女性より男性で高い。

年代別では、「老後の生活資金」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、「資産のリスク分散」も50代以下に比べて60代以上の“高齢層”の方が高い傾向がみられる。このため、「特に目的はないが資金を増やしたいため」の割合は高齢層ほど低く、高齢層ほど目的を持って購入している様子が見える。

年収別では、100万円未満の層は“100万円以上500万円未満”の層に比べて「特に目的はないが資金を増やしたいため」が高く、「老後の生活資金」や「資産のリスク分散」などは低い。なお、N数(サンプル数)が少ないため参考データではあるが、1000万円以上の層では「特に目的はないが資金を増やしたいため」はほとんどみられず、「老後の生活資金」や「資産のリスク分散」など目的を持って購入している割合が高い。

投資信託保有状況別に購入目的をみると、現在保有層は保有経験層に比べて「特に目的はないが資金を増やしたいため」が低く、「老後の生活資金」や「資産のリスク分散」など具体的な目的を持って購入した割合が高い。

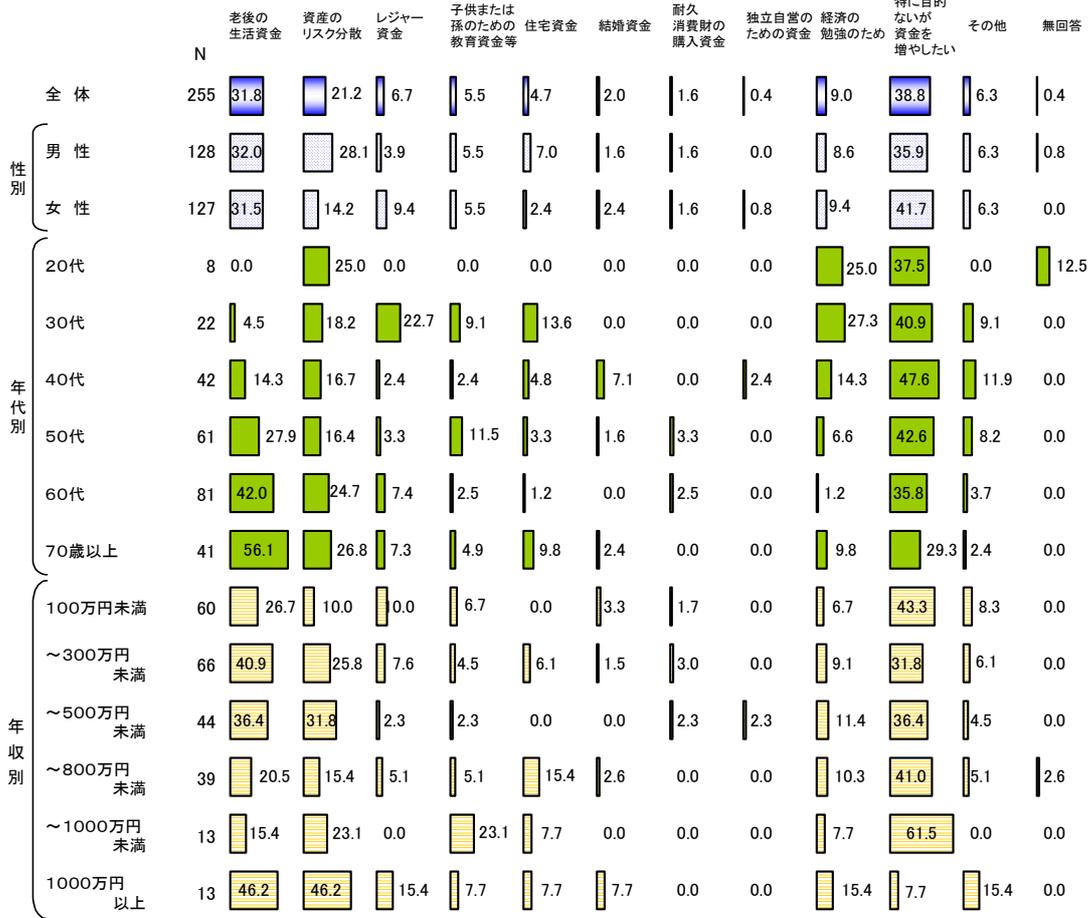
投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層は他の層に比べて「資産のリスク分散」が、その他投資信託保有層は「特に目的はないが資金を増やしたいため」が高い。

問5【投資信託の購入目的(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

	N	老後の生活資金	資産のリスク分散	経済の勉強のため	レジャー資金	子供または孫のための教育資金等	住宅資金	結婚資金	耐久消費財の購入資金	独立自営のための資金	特に目的はないが資金を増やしたい	その他	無回答
平成22年	255	31.8	21.2	9.0	6.7	5.5	4.7	2.0	1.6	0.4	38.8	6.3	0.4
平成20年	231	34.6	28.1	10.8	4.8	6.5	3.0	0.0	3.5	1.7	35.5	6.9	0.0
平成19年	230	32.2	23.0	10.9	4.8	7.0	5.7	1.7	3.9	0.4	34.3	4.3	2.2

問5【投資信託の購入目的(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

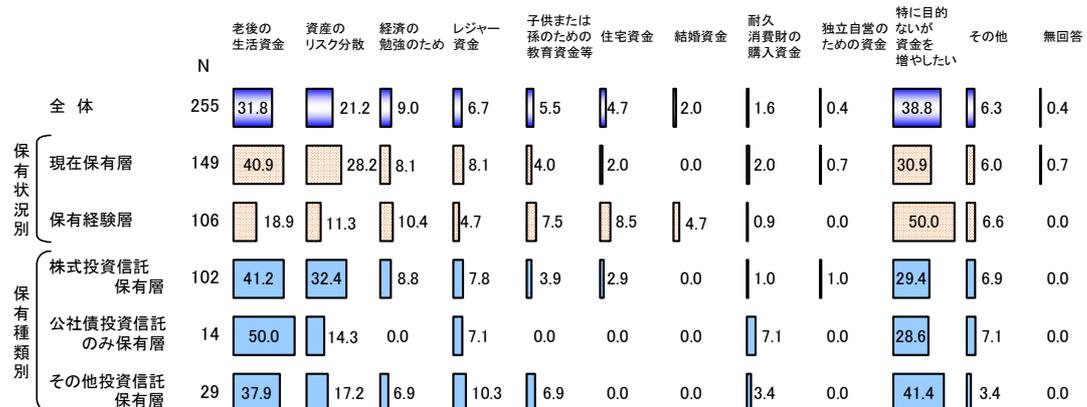
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問5【投資信託の購入目的(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



## (6) 投資信託の運用実績評価

投資信託の運用実績評価を尋ねると、「期待した以上だった」は1.6%、「期待通りの実績だった」は11.0%であり、これらを合わせた“期待以上”は12.6%である。一方、「期待していたよりもやや悪かった」は34.1%、「全く期待はずれだった」は24.3%であり、これらを合わせた“期待以下”は58.4%と半数を超え、“期待以上”を大きく上回っている。また、「なんともいえない」と評価を保留した人も28.6%みられる。「期待した以上だった」から「全く期待はずれだった」に、4点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、1.9点となった。

時系列でみると、毎回“期待以上”が低下、“期待以下”が上昇しており、運用実績評価は全体的に悪化傾向が続いている。平均値も前々回の2.5点から徐々に低下している。

対象者属性別でみると、男性は女性に比べて“期待以上”が高く、「なんともいえない」は低い。

年代別にみると、30代はN数(サンプル数)が少なく参考データではあるが、“期待以上”が特に高く、“期待以下”とほぼ拮抗している。“期待以上”は50代が最も低く、“期待以下”は60代が最も高い。平均値でも、期待値が最も高いのは30代、最も低いのは50代である。

年収別では、“期待以上”は100万円未満の層で最も低く、500万円以上800万円未満の層で最も高い。平均値でも、500万円以上800万円未満の層の評価が最も高い。

投資信託保有状況別でみると、現在保有層の方が保有経験層に比べて“期待以上”が低い。

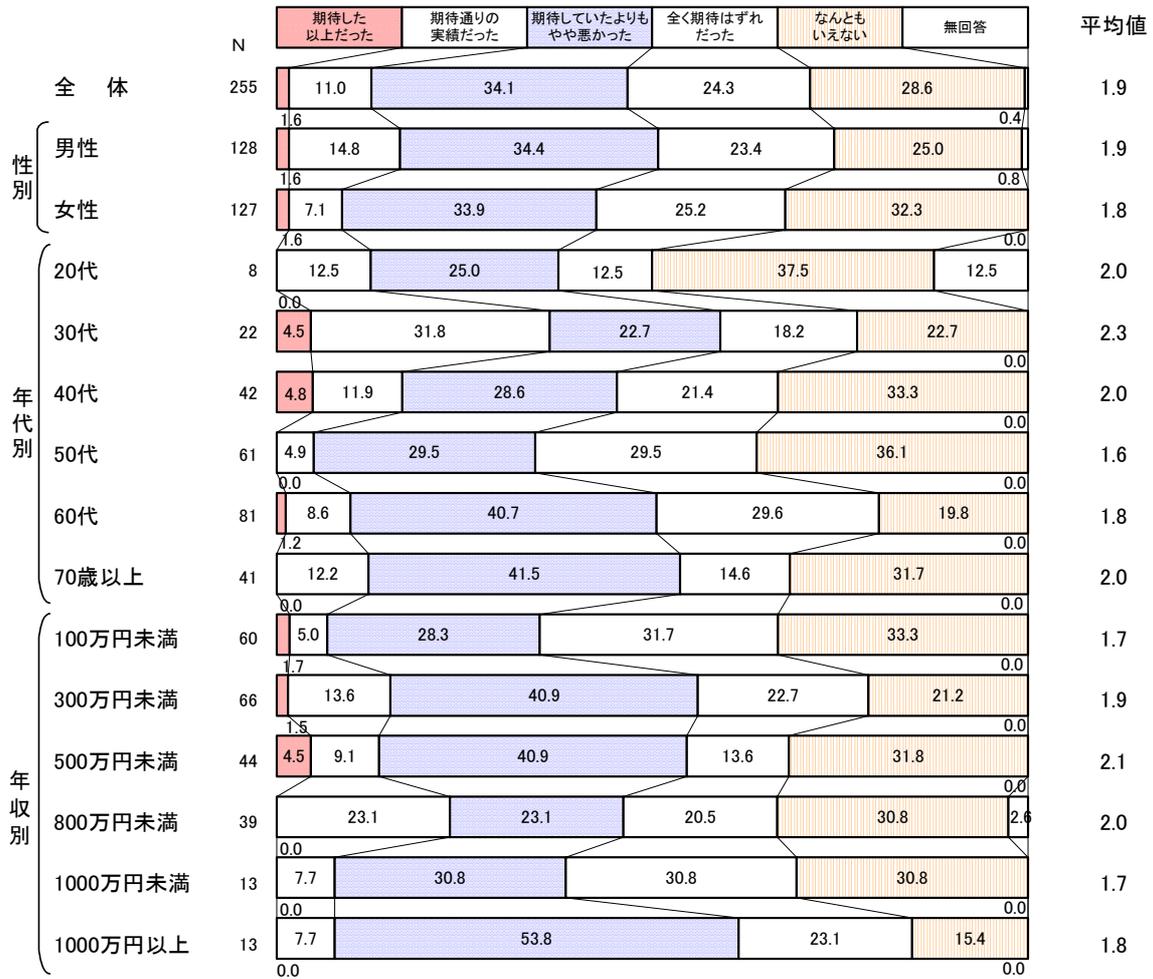
投資信託保有種類別でみると、その他投資信託保有層は「なんともいえない」が低く、“期待以下”が高いため、平均値は他の層に比べて低い。

### 問 13【投資信託の運用実績評価(単数回答)／時系列－現在保有層・保有経験層ベース】

N	期待した以上だった	期待通りの実績だった	期待していたよりもやや悪かった	全く期待はずれだった	なんともいえない	無回答	平均値
	平成22年	1.6	11.0	34.1	24.3	28.6	
平成20年	0.9	19.5	36.8	16.9	25.5	0.4	2.1
平成19年	9.1	31.7	14.8	13.5	28.3	2.6	2.5

問 13【投資信託の運用実績評価(単数回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

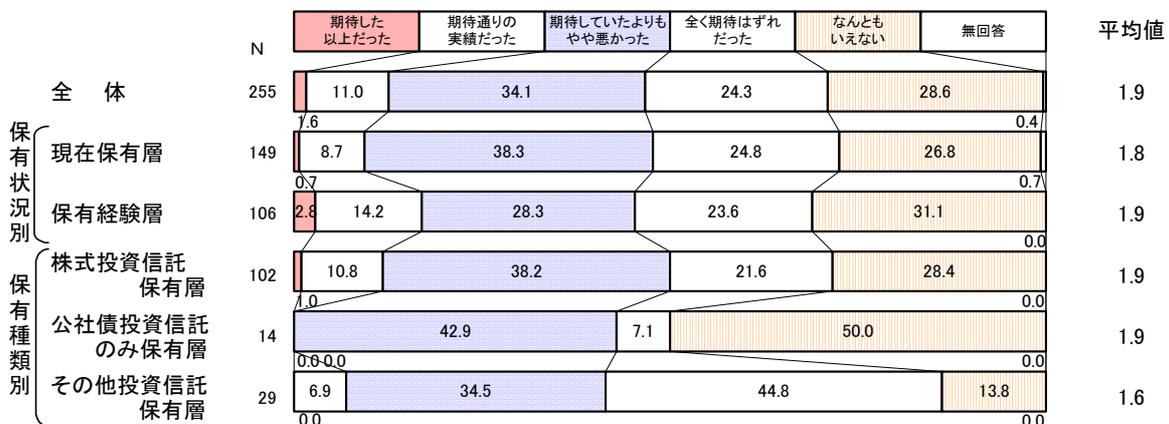
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 13【投資信託の運用実績評価(単数回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



## (7) 償還・売却資金の流出先

投資信託の償還あるいは売却した資金の流出先は、「預貯金にまわした」が 38.0%で最も高い。次いで「生活資金にまわした」(25.9%)、「他の投資信託を購入した」(18.8%)、「株式・債券を購入した」(13.3%)の順となっている。

時系列でも、特に大きな変化はみられない。

対象者属性別としては、性別では大きな差がみられる項目はない。

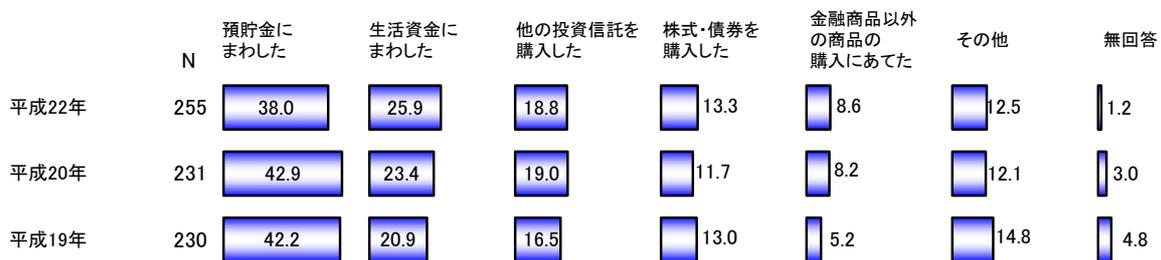
年代別にみると、「預貯金にまわした」のは 40～50 代に比べて 60 代以上の高齢層の方がやや高い。50 代では「生活資金にまわした」が他の年代と比べて最も高い。

年収別では、500 万円以上 800 万円未満の層は他の層に比べて「預貯金にまわした」が低い。100 万円未満の層では「生活資金にまわした」が高く、「預貯金にまわした」との差が小さい。なお、N 数(サンプル数)が少ないため参考データではあるが、1000 万円以上の層は「他の投資信託を購入した」が最大流出先となっており、「生活資金にまわした」は低い。

投資信託保有状況別にみると、「他の投資信託を購入した」は現在保有層では 30.9%みられるのに対し、保有経験層ではほとんどみられない。また、現在保有層は保有経験層に比べて「預貯金にまわした」「生活資金にまわした」は低い。

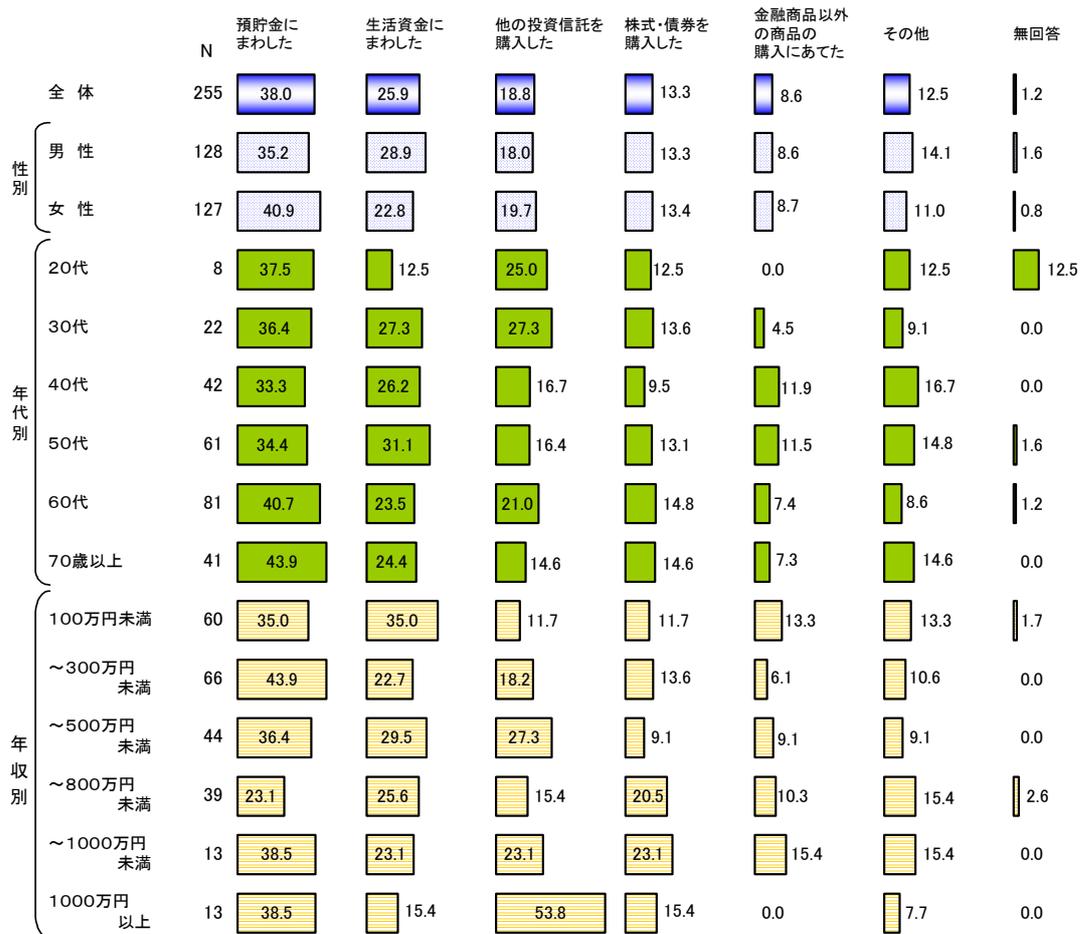
投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層では「預貯金にまわした」は他の層より低く、「他の投資信託を購入した」「株式・債券を購入した」が高いことから、引き続き金融資産として還流させている人が多いことがうかがえる。

問 14 【償還・売却資金の流出先(重複回答)】時系列—現在保有層・保有経験層ベース



問 14【償還・売却資金の流出先(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

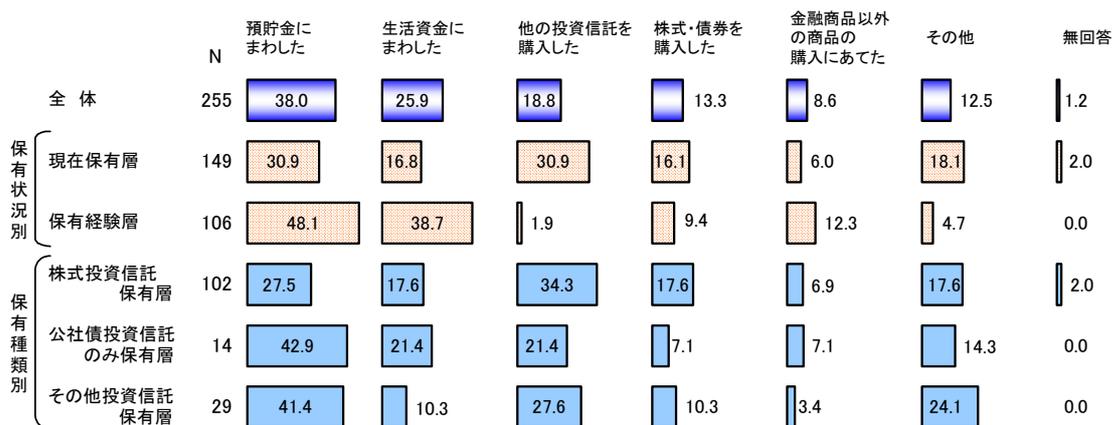
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 14【償還・売却資金の流出先(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



## (8) 分配金の特徴認知状況

投資信託の『分配金』の特徴の中では「運用成績によって変動する」の認知率が最も高く、4人に3人(74.5%)が知っている。「収益が出た場合は分配金が支払われる」(52.2%)、「成績不良時には支払われない場合がある」(49.0%)、「毎月支払われる商品がある」(45.9%)、「決算ごとに支払われる」(44.7%)などについてもほぼ半数は認知している。一方、「支払われた額だけ基準価額が下がる」ことを認知しているのは20.4%に留まる。

対象者属性別については、性別では、「決算ごとに支払われる」の認知率は男性の方が女性より高い。

年代別にみると、「成績不良時には支払われない場合がある」の認知率は年代が高いほど下がる傾向がみられる。「決算ごとに支払われる」も40代以下より50代以上の方が低く、全体的に高齢層の認知率は低くなる傾向がみられる。

年収別では、100万円以上300万円未満の層は他の層に比べて「収益が出た場合は分配金が支払われる」「成績不良時には支払われない場合がある」「決算ごとに支払われる」の認知率が低く、「運用成績によって変動する」も“300万円未満”の層の認知率が低い。N数(サンプル数)が少ないため参考データではあるが、1000万円以上の層は「成績不良時には支払われない場合がある」「決算ごとに支払われる」が高く、全般的に特徴をよく認知している。

地域別では、「毎月支払われる商品がある」の認知率は阪神圏の方が首都圏に比べて高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べて「毎月支払われる商品がある」「決算ごとに支払われる」の認知率が高く、「運用成績によって変動する」や「支払われた額だけ基準価額が下がる」も高い。つまり、全般的に現在保有層の方が『分配金』について多様な面を認知していることがわかる。

投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層に比べて認知率が高い項目が多く、『分配金』について全般的によく知られている。

問 10【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	運用成績によって変動する	収益が出た場合は分配金が支払われる	成績不良時には支払われない場合がある	毎月支払われる商品がある	決算ごとに支払われる	支払われた額だけ基準価額が下がる	知っているものはない	無回答
全体	255	74.5	52.2	49.0	45.9	44.7	20.4	8.2	1.2
性別									
男性	128	77.3	52.3	51.6	45.3	49.2	24.2	8.6	0.8
女性	127	71.7	52.0	46.5	46.5	40.2	16.5	7.9	1.6
年代別									
20代	8	75.0	25.0	37.5	50.0	62.5	25.0	12.5	12.5
30代	22	86.4	59.1	59.1	45.5	54.5	27.3	0.0	4.5
40代	42	81.0	54.8	61.9	42.9	57.1	16.7	11.9	0.0
50代	61	72.1	50.8	52.5	41.0	39.3	18.0	6.6	0.0
60代	81	70.4	56.8	44.4	55.6	43.2	23.5	6.2	1.2
70歳以上	41	73.2	43.9	36.6	36.6	34.1	17.1	14.6	0.0
年収別									
100万円未満	60	66.7	55.0	56.7	50.0	41.7	23.3	8.3	1.7
～300万円未満	66	65.2	39.4	34.8	45.5	31.8	16.7	13.6	0.0
～500万円未満	44	86.4	56.8	59.1	45.5	54.5	20.5	4.5	0.0
～800万円未満	39	84.6	59.0	48.7	41.0	51.3	28.2	2.6	2.6
～1000万円未満	13	92.3	69.2	46.2	46.2	46.2	15.4	0.0	0.0
1000万円以上	13	84.6	69.2	76.9	61.5	76.9	23.1	7.7	0.0
地域別									
首都圏	147	74.8	53.1	48.3	41.5	44.2	20.4	8.8	2.0
阪神圏	108	74.1	50.9	50.0	51.9	45.4	20.4	7.4	0.0

問 10【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	運用成績によって変動する	収益が出た場合は分配金が支払われる	成績不良時には支払われない場合がある	毎月支払われる商品がある	決算ごとに支払われる	支払われた額だけ基準価額が下がる	知っているものはない	無回答
全体	255	74.5	52.2	49.0	45.9	44.7	20.4	8.2	1.2
保有状況別									
現在保有層	149	77.9	52.3	49.0	58.4	55.0	24.8	7.4	1.3
保有経験層	106	69.8	51.9	49.1	28.3	30.2	14.2	9.4	0.9
保有種類別									
株式投資信託保有層	102	78.4	59.8	57.8	62.7	61.8	27.5	8.8	1.0
公社債投資信託のみ保有層	14	64.3	28.6	14.3	28.6	21.4	7.1	0.0	0.0
その他投資信託保有層	29	86.2	37.9	34.5	58.6	48.3	20.7	3.4	0.0

## (9) 目論見書閱讀状況

### ① 目論見書閱讀経験

目論見書の閱讀経験については、「全部読んだ」が2.7%、「必要と思われる項目を読んだ」が37.3%であり、両者を合わせた“閱讀経験率”は40.0%である。これに対し、「あまり読まなかった」は58.8%と過半数を占め、“閱讀経験率”を大きく上回る。

前回調査と比べても、大きな変化はみられない。

対象者属性別については、性別では、“閱讀経験率”に大きな差はみられない。

年代別では、40代の“閱讀経験率”が最も高く、60代以上では低い。

年収別では、“閱讀経験率”は800万円未満の各層では大きな差はみられない。それ以上の高収入層はN数(サンプル数)が少ないため参考データではあるが、“閱讀経験率”は高いといえる。

投資信託保有状況別でみると、現在保有層は保有経験層より“閱讀経験率”が高い。

投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層の“閱讀経験率”が他の層より高くなっている。

### 問 11 【目論見書閱讀経験(単数回答)／時系列－現在保有層・保有経験層ベース】

	N	全部読んだ	必要と思われる項目を読んだ	あまり読まなかった	無回答
平成22年	255	2.7	37.3	58.8	1.2
平成20年	231	3.9	34.2	61.0	0.9

### 問 11 【目論見書閱讀経験(単数回答)／対象者属性別－現在保有層・保有経験層ベース】

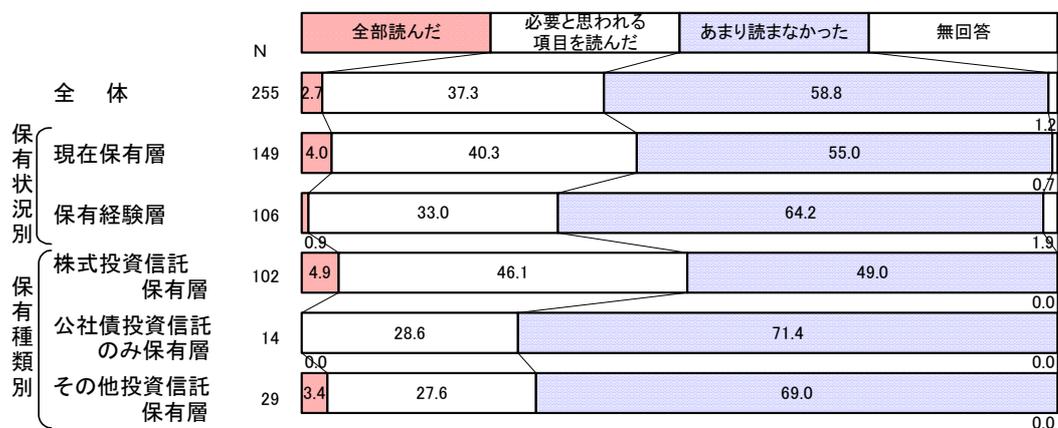
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	全部読んだ	必要と思われる項目を読んだ	あまり読まなかった	無回答	
全体	255	2.7	37.3	58.8	1.2	
性別	男性	3.1	39.8	55.5	1.6	
	女性	2.4	34.6	62.2	0.8	
年代別	20代	12.5	25.0	37.5	25.0	
	30代	0.0	40.9	59.1	0.0	
	40代	7.1	42.9	50.0	0.0	
	50代	1.6	44.3	54.1	0.0	
	60代	2.5	29.6	66.7	1.2	
	70歳以上	41	0.0	36.6	63.4	0.0
	年収別	100万円未満	1.7	28.3	70.0	0.0
300万円未満		3.0	34.8	62.1	0.0	
500万円未満		4.5	34.1	59.1	2.3	
800万円未満		2.6	33.3	61.5	2.6	
1000万円未満		13	0.0	61.5	38.5	0.0
1000万円以上		13	7.7	76.9	15.4	0.0

問 11 【目論見書読読経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



②目論見書未読理由(現在保有層・保有経験層のうち目論見書非朗読者)

目論見書を「あまり読まなかつた」人に対し、その理由を尋ねたところ、「内容が多すぎて読む気にならない」が81.3%と特に高く、「専門用語が多すぎるので理解しづらい」は49.3%、「重要な箇所がわからない」は28.0%みられる。

前回調査と比べると、「専門用語が多すぎるので理解しづらい」が上昇したが、「重要な箇所がわからない」は低下した。

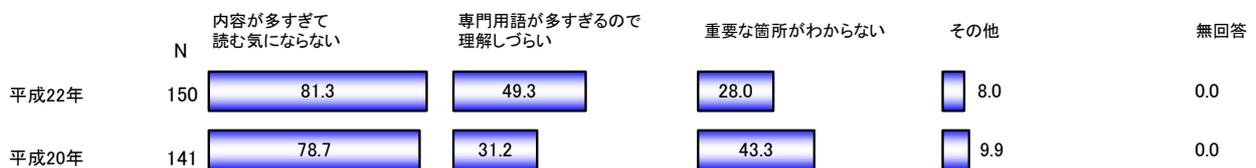
対象者属性別にみると、性別で大きな差はみられない。

投資信託保有状況別では、「重要な箇所がわからない」は現在保有層の方が保有経験層より高い。

保有種類別については、株式投資信託保有層以外、サンプル数が少ないため、参考データとして提示するに留める。

問 11-1 【目論見書未読理由(重複回答)】/時系列

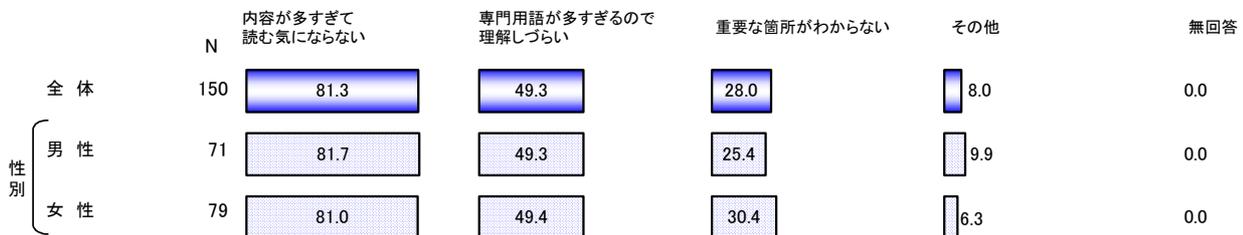
—現在保有層・保有経験層のうち目論見書非朗読者ベース



問 11-1 【目論見書未読理由(重複回答)】/対象者属性別

—現在保有層・保有経験層のうち目論見書非朗読者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要



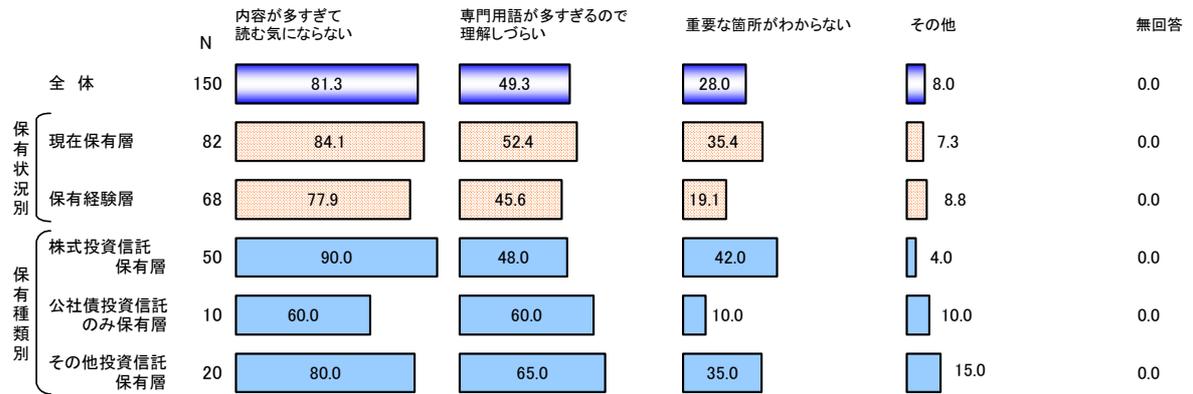
(上段:N)(下段:%)

	全体	内容が多すぎて読む気にならない	重要な箇所がわからない	専門用語が多すぎるので理解しづらい	その他	無回答
全体	150 100.0	122 81.3	74 49.3	42 28.0	12 8.0	-
年代別	20代	3 100.0	2 66.7	-	-	1 33.3
	30代	13 100.0	10 76.9	9 69.2	6 46.2	1 7.7
	40代	21 100.0	17 81.0	9 42.9	7 33.3	1 4.8
	50代	33 100.0	30 90.9	21 63.6	9 27.3	1 3.0
	60代	54 100.0	44 81.5	23 42.6	14 25.9	4 7.4
	70歳以上	26 100.0	19 73.1	12 46.2	6 23.1	4 15.4
	年収別	100万円未満	42 100.0	38 90.5	21 50.0	15 35.7
300万円未満		41 100.0	31 75.6	18 43.9	10 24.4	4 9.8
500万円未満		26 100.0	17 65.4	16 61.5	7 26.9	3 11.5
800万円未満		24 100.0	21 87.5	11 45.8	5 20.8	2 8.3
1000万円未満		5 100.0	5 100.0	1 20.0	2 40.0	-
1000万円以上		2 100.0	2 100.0	-	-	1 50.0

問 11-1 【目論見書未読理由(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち目論見書非読者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



## (10) 運用報告書閲読状況

### ① 運用報告書閲読経験

運用報告書の閲読経験については、「読んだことがある」(＝閲読経験率)が 58.4%と過半数を占め、「読んだことはない」の 40.4%を上回っている。

時系列でみると、閲読経験率には大きな変化はみられない。

対象者属性別でみると、性別では閲読経験率には大きな差はみられない。

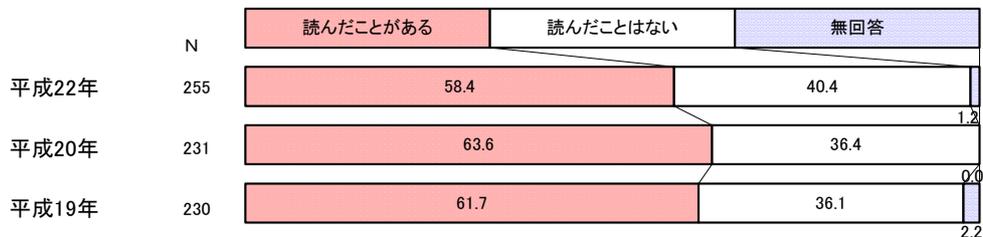
年代別では、40 代の閲読経験率が最も高い。

年収別では、“800 万円未満”層の中でみると、100 万円以上 300 万円未満の層は閲読経験率が高い。N 数(サンプル数)が少ないため参考データではあるが、“800 万円以上”の層では閲読経験率はさらに高い。

投資信託保有状況別では、現在保有層の方が保有経験層より閲読経験率が高い。

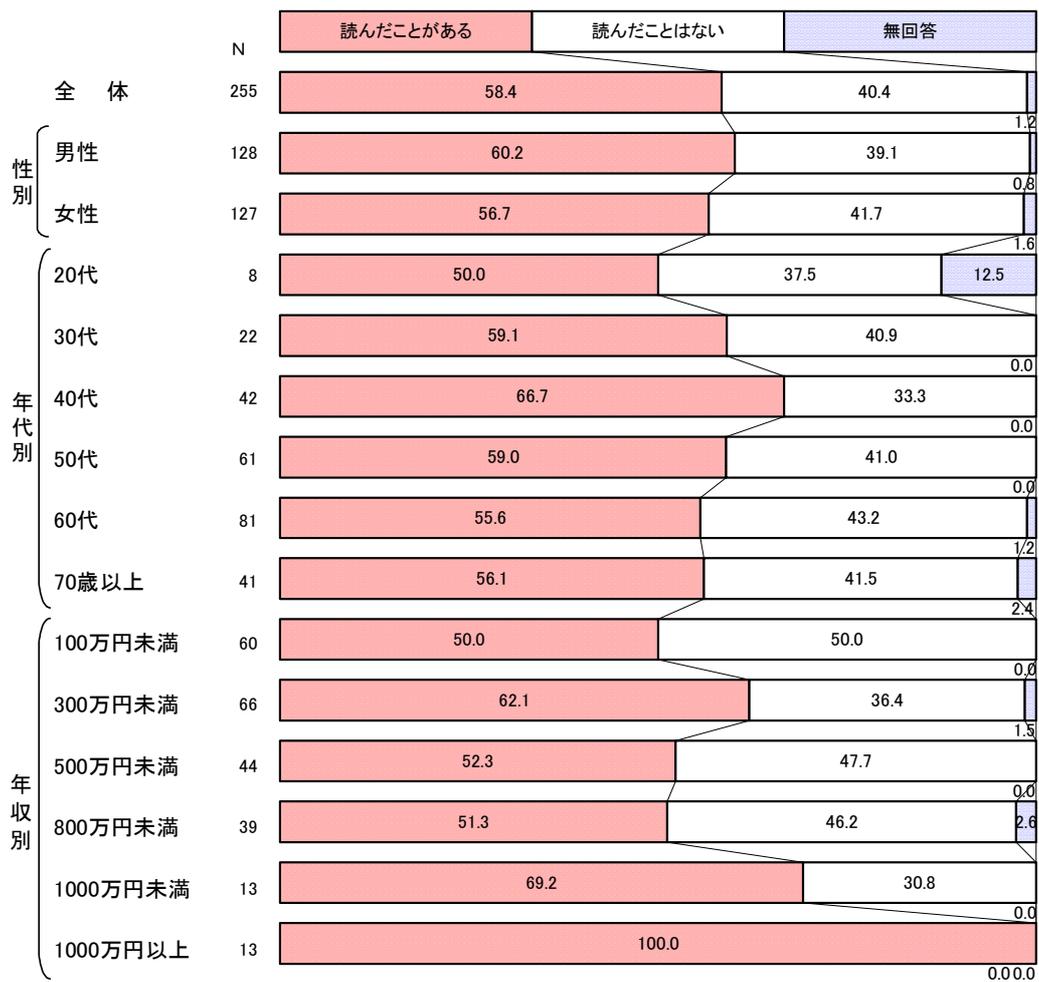
投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層とその他投資信託保有層では閲読経験率に大きな差はみられない。

### 問 12 【運用報告書閲読経験(単数回答)／時系列－現在保有層・保有経験層ベース】



問 12 【運用報告書閲読経験(単数回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

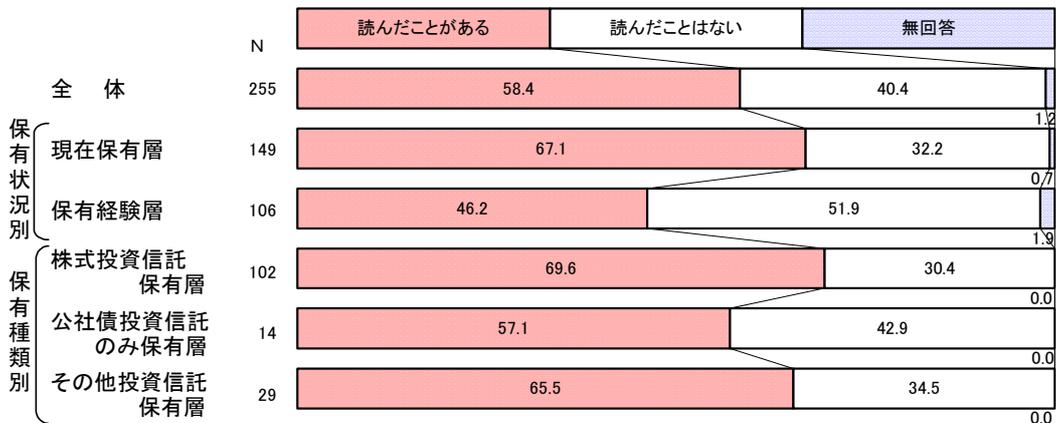
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 12 【運用報告書閲読経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



②運用報告書理解状況(現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者)

運用報告書閲覧経験者に運用報告書の理解状況を尋ねたところ、「よく理解できた」のは2.7%のみであるが、「まあまあ理解できた」(55.7%)と合わせた“理解層”は58.4%と過半数を占める。一方、「よくわからなかった」(38.3%)と「全くわからなかった」(3.4%)を合わせた“非理解層”も41.7%みられる。「よく理解できた」から「全くわからなかった」まで、4点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、2.6点となった。

時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別については、女性より男性の方が“理解層”比率は高い。

投資信託保有状況別では、現在保有層の方が保有経験層に比べて“理解層”比率が高い。

問 12-1【運用報告書理解状況(単数回答)】時系列

—現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者ベース

	N	よく理解できた	まあまあ理解できた	よくわからなかった	全くわからなかった	無回答	平均値
平成22年	149	2.7	55.7	38.3	3.4	0.0	2.6
平成20年	147	4.1	53.7	38.1	3.4	0.7	2.6
平成19年	142	4.2	47.2	46.5	2.1	0.0	2.5

問 12-1【運用報告書理解状況(単数回答)】対象者属性別

—現在保有層・保有経験層保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	よく理解できた	まあまあ理解できた	よくわからなかった	全くわからなかった	無回答	平均値
全体	149	2.7	55.7	38.3	3.4	0.0	2.6
男性	77	1.3	70.1	26.0	2.6	0.0	2.7
女性	72	4.2	40.3	51.4	4.2	0.0	2.4

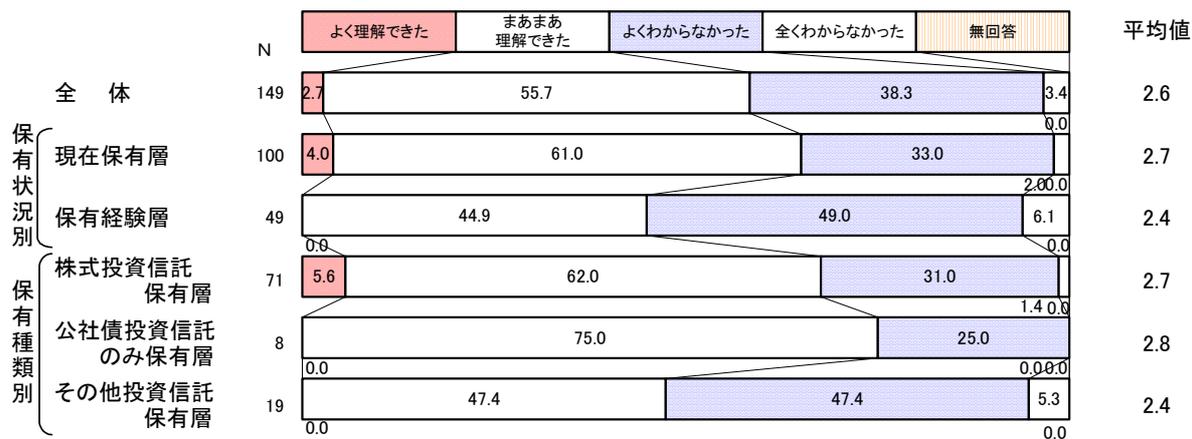
(上段:N)(下段:%)

	全体	よく理解できた	まあまあ理解できた	よくわからなかった	全くわからなかった	無回答	平均値
全体	149	4	83	57	5	-	2.6
	100.0	2.7	55.7	38.3	3.4	-	2.6
年代別	20代	4	1	3	-	-	3.3
		100.0	25.0	75.0	-	-	3.3
	30代	13	-	10	2	1	2.7
		100.0	-	76.9	15.4	7.7	2.7
	40代	28	-	17	9	2	2.5
		100.0	-	60.7	32.1	7.1	2.5
	50代	36	2	16	17	1	2.5
	100.0	5.6	44.4	47.2	2.8	2.5	
年収別	60代	45	1	25	18	1	2.6
		100.0	2.2	55.6	40.0	2.2	2.6
	70歳以上	23	-	12	11	-	2.5
		100.0	-	52.2	47.8	-	2.5
	100万円未満	30	2	6	19	3	2.2
		100.0	6.7	20.0	63.3	10.0	2.2
年収別	300万円未満	41	-	28	13	-	2.7
		100.0	-	68.3	31.7	-	2.7
	500万円未満	23	1	14	7	1	2.7
		100.0	4.3	60.9	30.4	4.3	2.7
	800万円未満	20	-	14	5	1	2.7
		100.0	-	70.0	25.0	5.0	2.7
年収別	1000万円未満	9	1	5	3	-	2.8
		100.0	11.1	55.6	33.3	-	2.8
	1000万円以上	13	-	11	2	-	2.8
	100.0	-	84.6	15.4	-	2.8	

問 12-1 【運用報告書理解状況(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち運用報告書読読経験者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



③運用報告書未読理由(現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲読未経験者)

運用報告書閲読未経験者に、読んだことがない理由を尋ねたところ、「特に興味もなかったの  
で」(49.5%)が最も高く、次いで「難しそうだったので」(35.9%)が高い。「発行されているこ  
とも知らなかった」は7.8%に留まる。

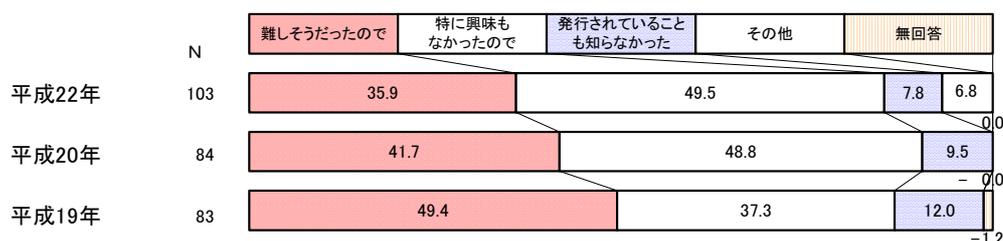
時系列でみると、「難しそうだったので」の比率が毎回低下している。「特に興味もなかった  
の」は前々回から前回は上昇したが、今回は前回と同水準を維持している。

対象者属性別でみると、性別では大きな差はみられない。

投資信託保有状況別でも、現在保有層と保有経験層の間に大きな差はみられない。

問 12-2【運用報告書未読理由(単数回答)】／時系列

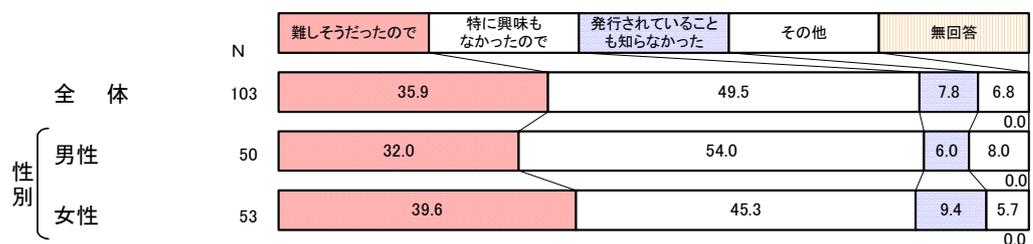
－現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲読未経験者ベース



問 12-2【運用報告書未読理由(単数回答)】／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲読未経験者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。



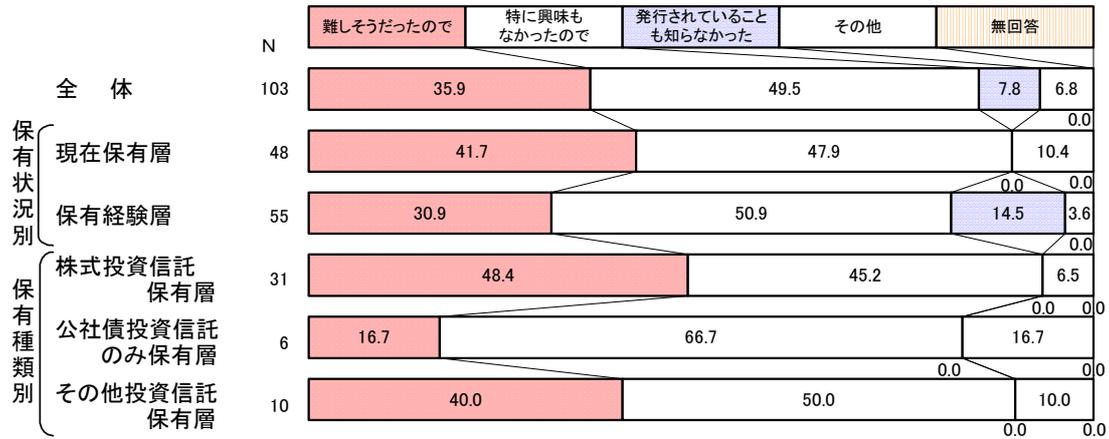
(上段:N)(下段:%)

	全体	難しそう だったので	特に興味も なかったの	発行されて いることも 知らなかった	その他	無回答
全体	103	37	51	8	7	-
	100.0	35.9	49.5	7.8	6.8	-
年代別	20代	3	1	2	-	-
		100.0	33.3	66.7	-	-
	30代	9	2	6	-	1
		100.0	22.2	66.7	-	11.1
	40代	14	5	7	2	-
		100.0	35.7	50.0	14.3	-
	50代	25	12	10	2	1
	100.0	48.0	40.0	8.0	4.0	
60代	35	12	16	4	3	
	100.0	34.3	45.7	11.4	8.6	
70歳以上	17	5	10	-	2	
	100.0	29.4	58.8	-	11.8	
年収別	100万円未満	30	11	15	3	1
		100.0	36.7	50.0	10.0	3.3
	300万円未満	24	10	8	2	4
		100.0	41.7	33.3	8.3	16.7
	500万円未満	21	6	14	-	1
		100.0	28.6	66.7	-	4.8
800万円未満	18	7	8	2	1	
	100.0	38.9	44.4	11.1	5.6	
1000万円未満	4	3	1	-	-	
	100.0	75.0	25.0	-	-	
1000万円以上	-	-	-	-	-	
	100.0	-	-	-	-	

問 12-2 【運用報告書未読理由(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち運用報告書読読未経験者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(11) 評価会社による運用評価の認知・利用状況

評価会社による運用評価については、「評価会社の評価を参考に購入経験あり」は7.5%に留まるが、「評価会社の評価を見たことがある」は39.2%であり、両者を合わせた“認知率”は46.7%である。一方、「評価会社があること自体知らなかった」は51.0%とほぼ半数を占めている。

時系列では、特に大きな変化はみられない。

対象者属性別でみると、性別では、男性は女性に比べて“認知率”が高い。

年代別では、“認知率”は高齢層ほど低くなる傾向がみられる。

年収別では、年収が高くなるにつれ“認知率”が段階的に上がる傾向がみられる(ただし、“800万円以上”の層はN数(サンプル数)が少ないため参考データである)。

投資信託保有状況別では、現在保有層と保有経験層の“認知率”に大きな差はみられない。

投資信託保有種類別では、N数(サンプル数)が少ない層があるため参考データとなるが、株式投資信託保有層は他の層に比べて“認知率”がやや高い。

問 15【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／時系列

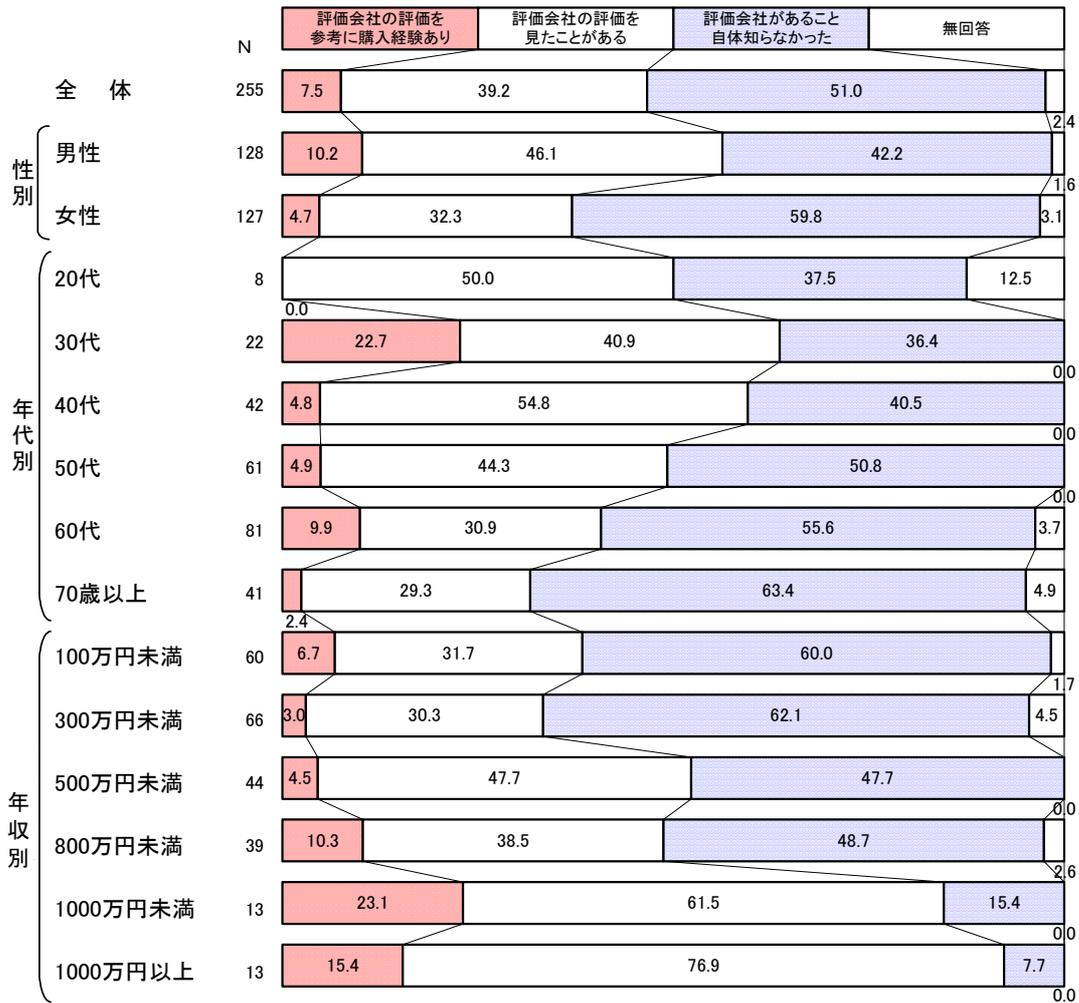
—現在保有層・保有経験層ベース】

N		評価会社の評価を参考に購入経験あり	評価会社の評価を見たことがある	評価会社があること自体知らなかった	無回答
平成22年	255	7.5	39.2	51.0	2.4
平成20年	231	3.9	39.4	55.4	1.3
平成19年	230	5.2	38.3	52.6	3.9

問 15【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

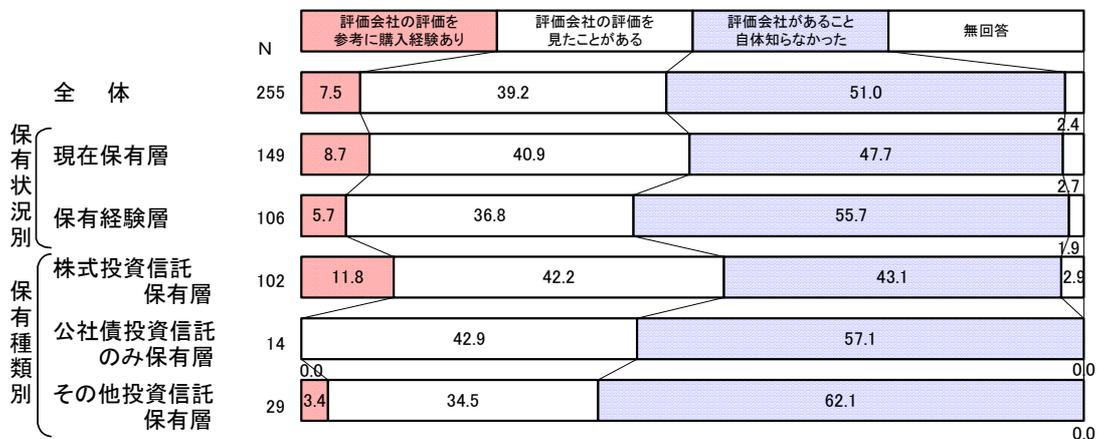
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 15【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



## (12) 投資信託会社のホームページ利用経験

投資信託などの情報を得るために投資信託会社のホームページを「よく利用する」のは3.1%、「たまに利用する」は15.3%であり、両者を合わせた“HP利用率”は18.4%である。一方、「利用したことはない」は81.2%となっている。

対象者属性別でみると、性別では、男性は女性に比べて“HP利用率”が高い。

年代別では、“HP利用率”は若年層ほど高い傾向がみられる。

年収別では、年収が高くなるにつれ“HP利用率”が上がる傾向がみられる。

地域別では、首都圏と阪神圏で“HP利用率”に大きな差はみられない。

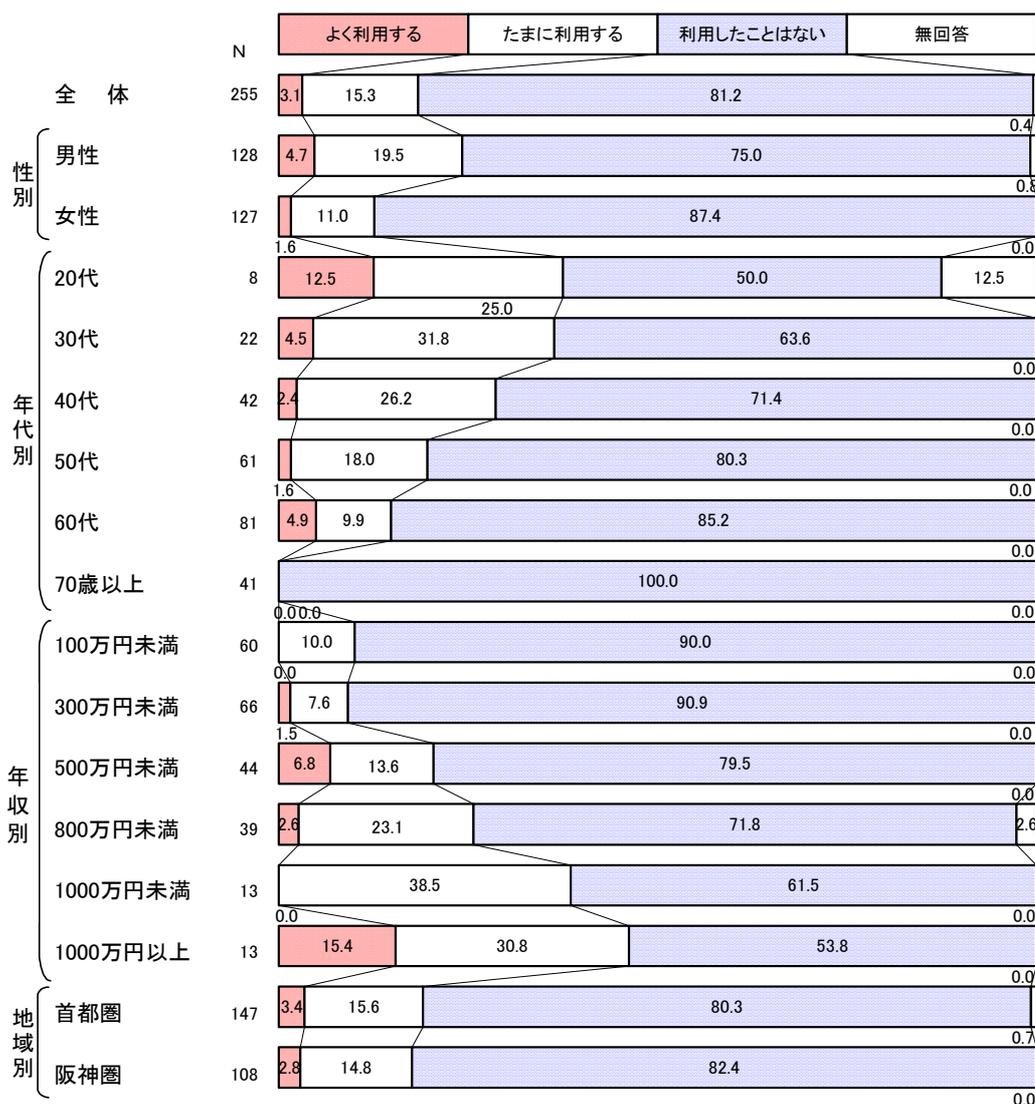
投資信託保有状況別については、現在保有層は保有経験層より“HP利用率”が高い。

投資信託保有種類別では、“HP利用率”は株式投資信託保有層とその他投資信託保有層では大きな差はみられない。N数(サンプル数)が少ないため参考データであるが、公社債投資信託のみ保有層ではHPはほとんどみられていない。

### 問 16 【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

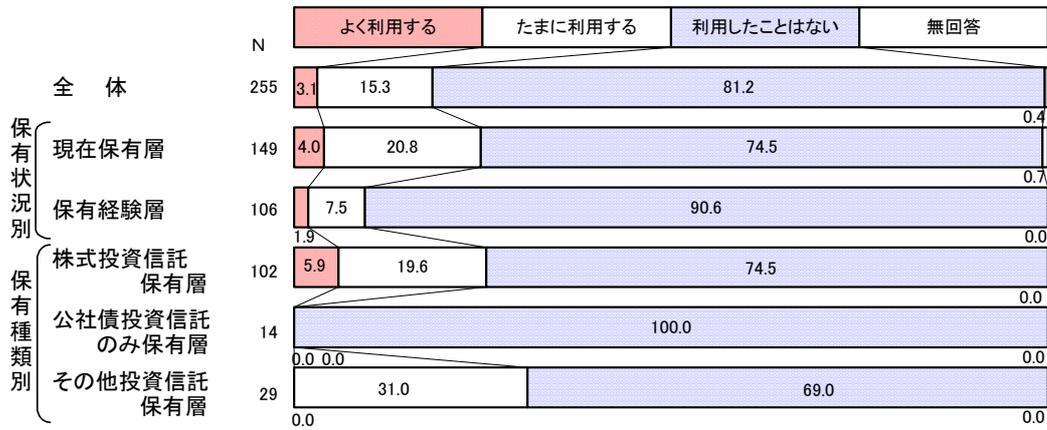
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 16 【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



### (13) 投資信託の優れていると感じる点

他の金融商品と比較して投資信託が優れている点(重複回答)は、「定期的に分配金が受け取れる」(46.3%)と「専門知識がなくても投資ができる」(43.9%)が特に高く、次いで「少額でも株式投資の面白味がある」(35.7%)と「比較的高い利回りが期待できる」(35.3%)が続き、これら4点が主な優位点となっている。以下、他の項目は20%台以下である。

時系列でみると、「比較的高い利回りが期待できる」は毎回低下し続けており、「専門知識がなくても投資ができる」も前回調査に比べて下がっている。一方、「種類が豊富で目的に応じて選べる」は前回調査よりやや上がった。

対象者属性別にみると、性別では大きな差がみられる項目はない。

年代別では、60代は他の年代に比べて「定期的に分配金が受け取れる」は高いが、「少額でも株式投資の面白味がある」は低い。70歳以上では「比較的高い利回りが期待できる」は他の年代より低い。

年収別では、「定期的に分配金が受け取れる」は年収が“500万円未満”と低い層の方がそれ以上の層より高い。

投資信託保有状況別でみると、「定期的に分配金が受け取れる」は現在保有層の方が保有経験層より高い。

投資信託保有種類別については、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層に比べて「専門知識がなくても投資できる」が高い。公社債投資信託のみ保有層は、N数(サンプル数)が少ないため参考データではあるが、「専門知識がなくても投資ができる」が高く、「定期的に分配金が受け取れる」を大きく上回っている。

投資信託が優れていると感じる点のうち、特に魅力を感じる点(単数回答)としては、「定期的に分配金が受け取れる」(25.5%)が最も高く、次いで「比較的高い利回りが期待できる」(16.5%)が高い。重複回答で第2位の「専門知識がなくても投資ができる」は、単数回答では11.0%で第4位に下がる。

前回調査と比べると、大きな違いはみられない。

対象者属性別にみると、性別では大きな差はみられない。

年代別では、60代は「定期的に分配金が受け取れる」が39.5%を占め特に高い。70歳以上では「専門知識がなくても投資ができる」が他の年代より高く、この年代では「定期的に分配金が受け取れる」と同率第1位となっている。

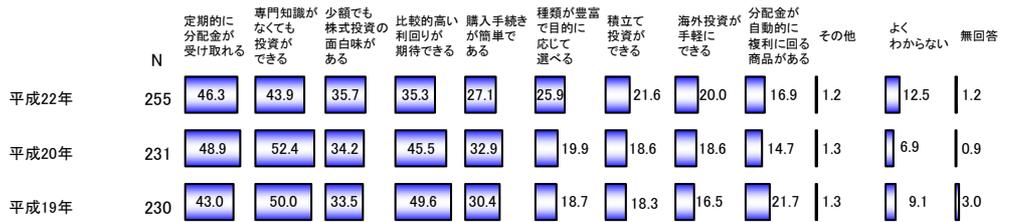
年収別では、「定期的に分配金が受け取れる」は年収が“500万円未満”と低い層の方がそれ以上の層より高い。またN数(サンプル数)が少ない層があるため参考データとなるが、「比較的高い利回りが期待できる」は800万円以上1000万円未満の層で最も高く、1000万円以上の層では、これと「少額でも株式投資の面白味がある」「購入手続きが簡単である」がトップ3で並んでいる。

投資信託保有状況別では、現在保有層では「定期的に分配金が受け取れる」が特に高く、これ以外の項目は15%以下であるが、保有経験層では「比較的高い利回りが期待できる」がトップであり、「定期的に分配金が受け取れる」を上回っている。

投資信託保有種類別では、その他投資信託保有層は株式投資信託保有層に比べて「定期的に分配金が受け取れる」や「比較的高い利回りが期待できる」が高い。公社債投資信託のみ保有層では、N数(サンプル数)が少ないため参考データではあるが、「専門知識がなくても投資ができる」がトップであり、「定期的に分配金が受け取れる」を上回っている。

問 17①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／時系列

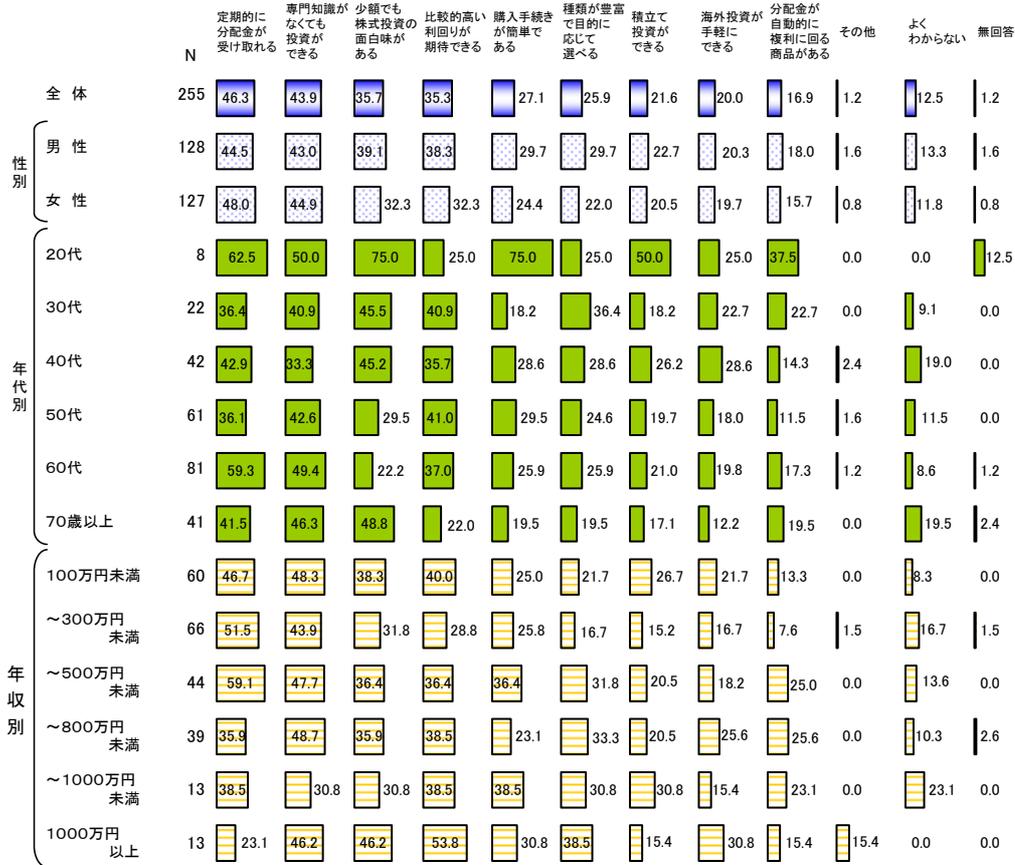
－現在保有層・保有経験層ベース



問 17①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

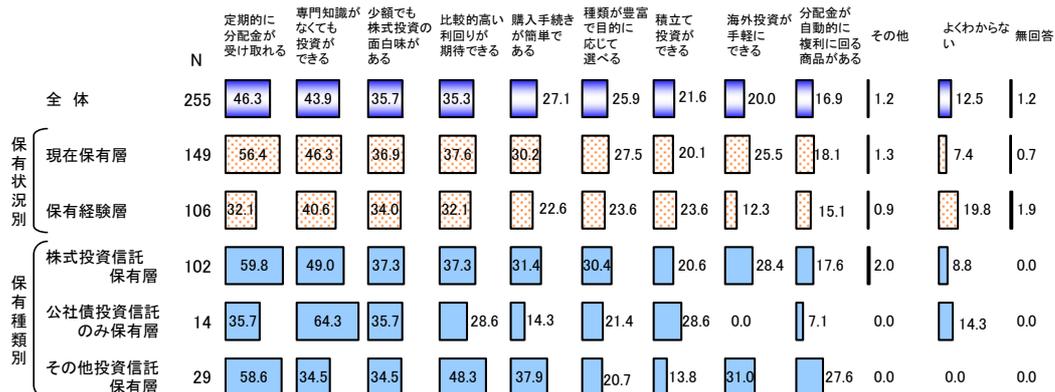
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 17①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

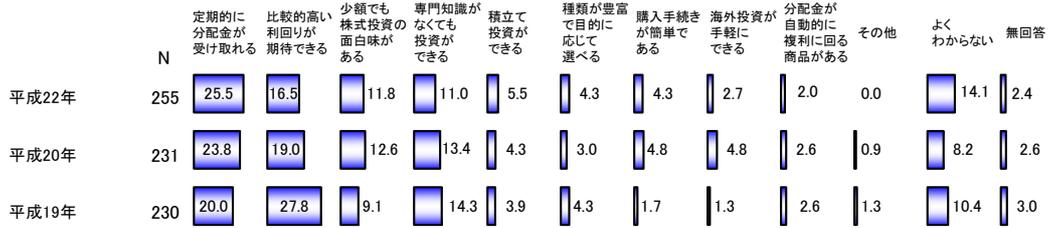
※ N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 17②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

1  
っ  
だ  
け

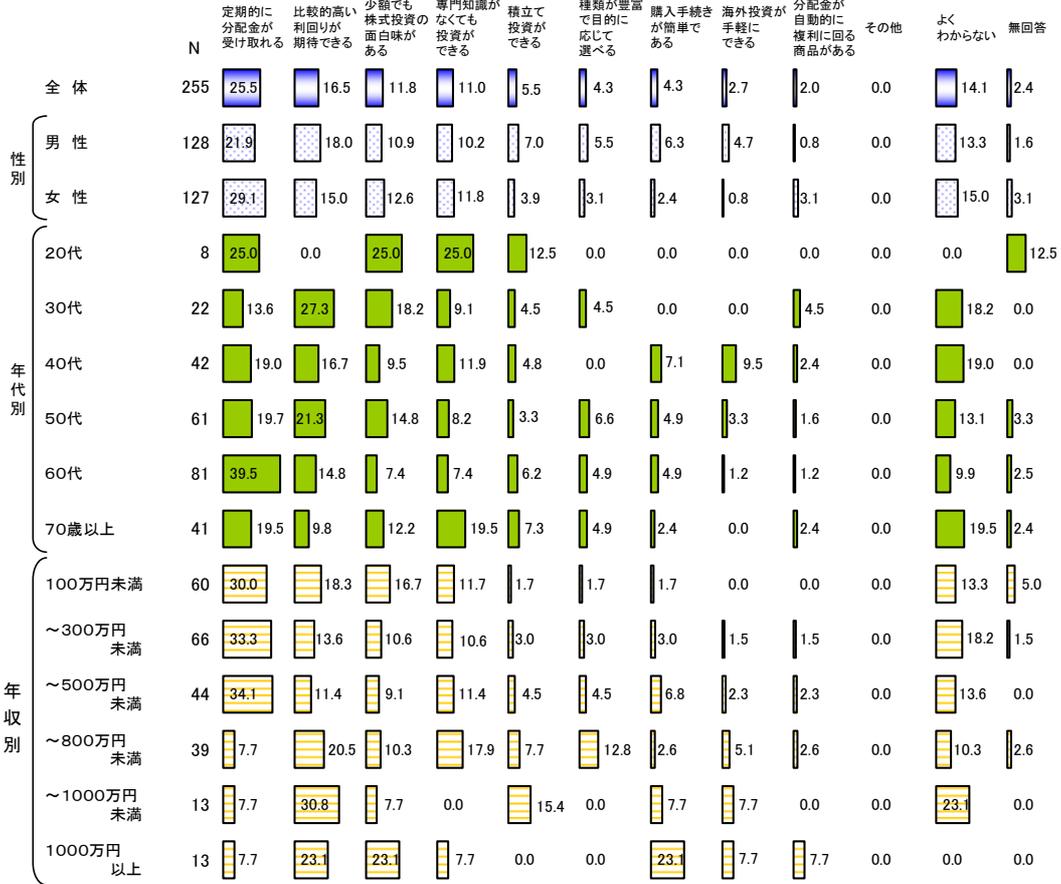


問 17②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1  
っ  
だ  
け

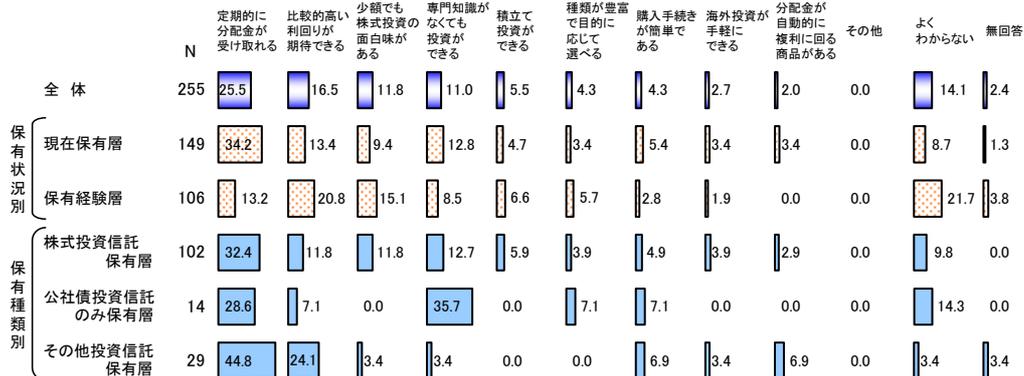


問 17②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

1  
っ  
だ  
け

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



## (14) 投資信託の不満を感じる点

### ①対象者属性別・保有状況別の不満を感じる点

投資信託の不満を感じる点(重複回答)は、「元本保証がない」が 59.6%で最も高く、次いで「手数料が高い」(37.6%)、「運用実績がわかりにくい」(32.5%)、「公社債に比べて安心できない」(25.5%)の順に続く。

時系列でも、特に大きな変化はみられない。

対象者属性別でみると、性別では、「手数料が高い」「株式に比べて面白さに欠ける」は女性に比べて男性での不満が高い。

年代別では、「元本保証がない」と「手数料が高い」はともに40代が最も高く、これらは年代が上がるにしたがって下がる傾向がみられる。

年収別では、「元本保証がない」は100万円未満の最も年収が低い層の不満が高い。

投資信託保有状況別については、「元本保証がない」は現在保有層より保有経験層での不満が高いが、「手数料が高い」は逆に現在保有層の不満が高い。

投資信託保有種類別でみると、その他投資信託保有層は株式投資信託保有層に比べて、「元本保証がない」「運用実績がわかりにくい」「公社債に比べて安心できない」不満が高いが、「手数料が高い」不満は低い。

投資信託の不満を感じる点のうち、特に不満を感じる点(単数回答)でも「元本保証がない」が36.9%を占め、特に高い。第2位は「手数料が高い」が11.4%であるが、第3位以下の項目と大きな差はみられない。

時系列でも、特に大きな変化はみられない。

対象者属性別についてみると、性別では、「元本保証がない」は男性より女性で高く、女性では他の不満はいずれも10%未満と低い。一方、男性は「手数料が高い」「運用実績がわかりにくい」なども10%を超え、女性に比べて不満点が分散している。

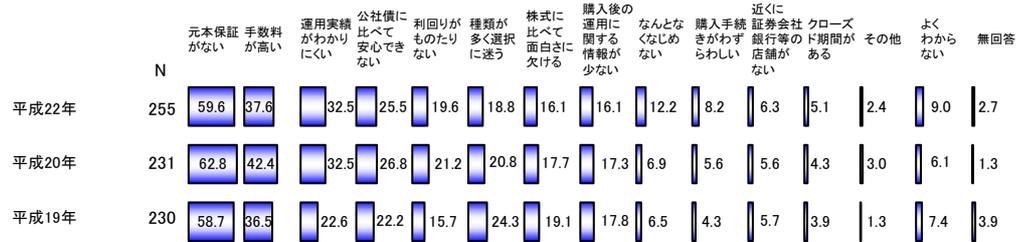
年代別では、「元本保証はない」は高齢層ほど不満が低い傾向がみられる。

年収別でみると、「元本保証がない」は年収が高い層ほど不満が低くなる傾向がみられる。N数(サンプル数)が少ないため参考データとなるが、1000万円以上の層では「手数料が高い」が不満のトップであり、「利回りが物足りない」も「元本保証がない」を上回っている。

投資信託保有状況別については、保有経験層では「元本保証がない」が半数弱を占め、他の不満は低いが、現在保有層では「元本保証がない」のみでなく、「手数料が高い」などの不満もやや高い。

投資信託保有種類別でみると、その他投資信託保有層は「元本保証がない」が半数近くを占め、特に不満が高い。

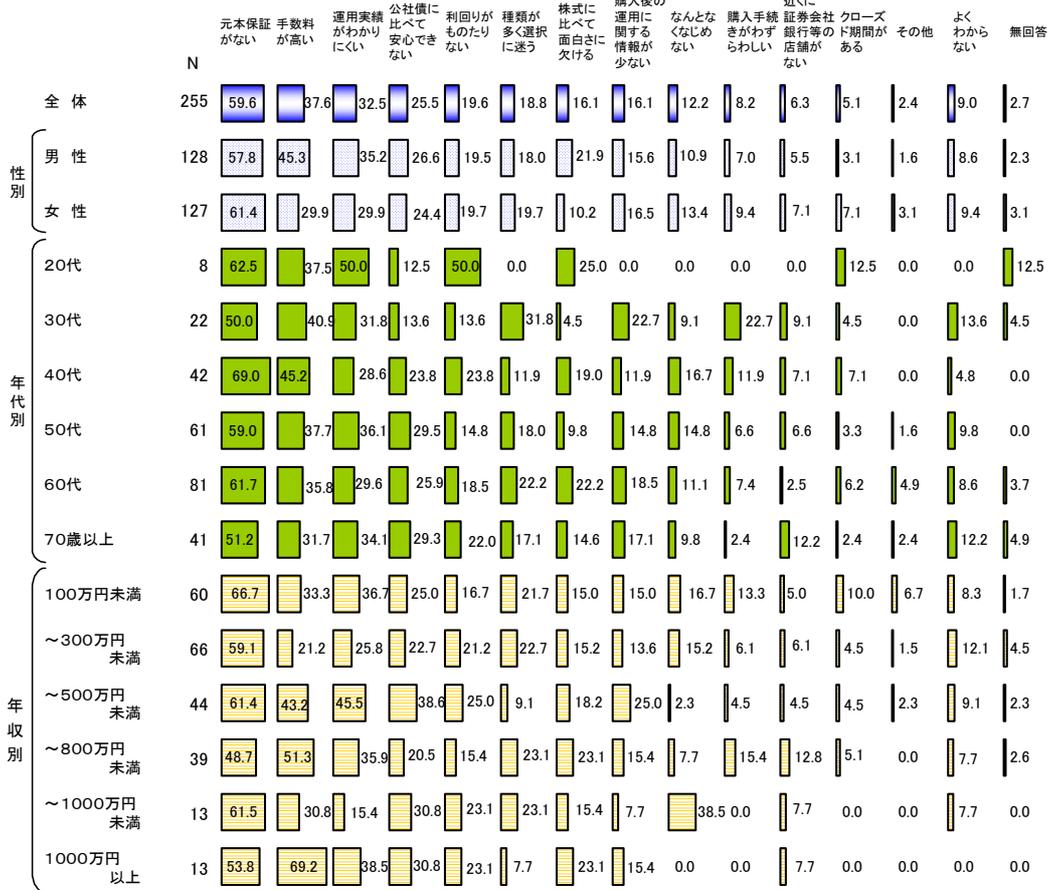
問 18①【投資信託の不満を感じる点(重複回答)】／時系列—現在保有層・保有経験層ベース



問 18①【投資信託の不満を感じる点(重複回答)】／対象者属性別

—現在保有層・保有経験層ベース

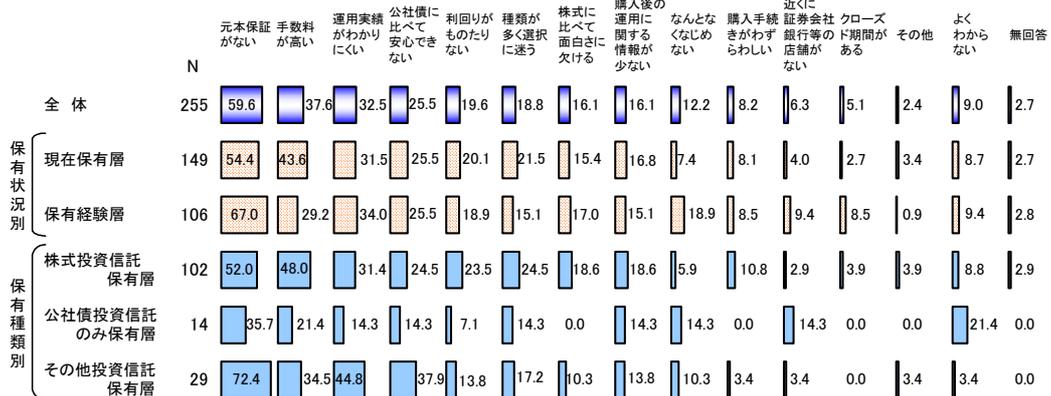
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 18①【投資信託の不満を感じる点(重複回答)】／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース

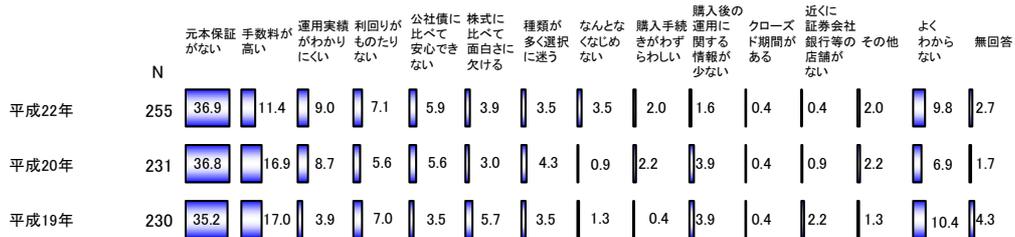
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 18②【投資信託の特に不満を感じる点(単数回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

1  
っ  
だ  
け

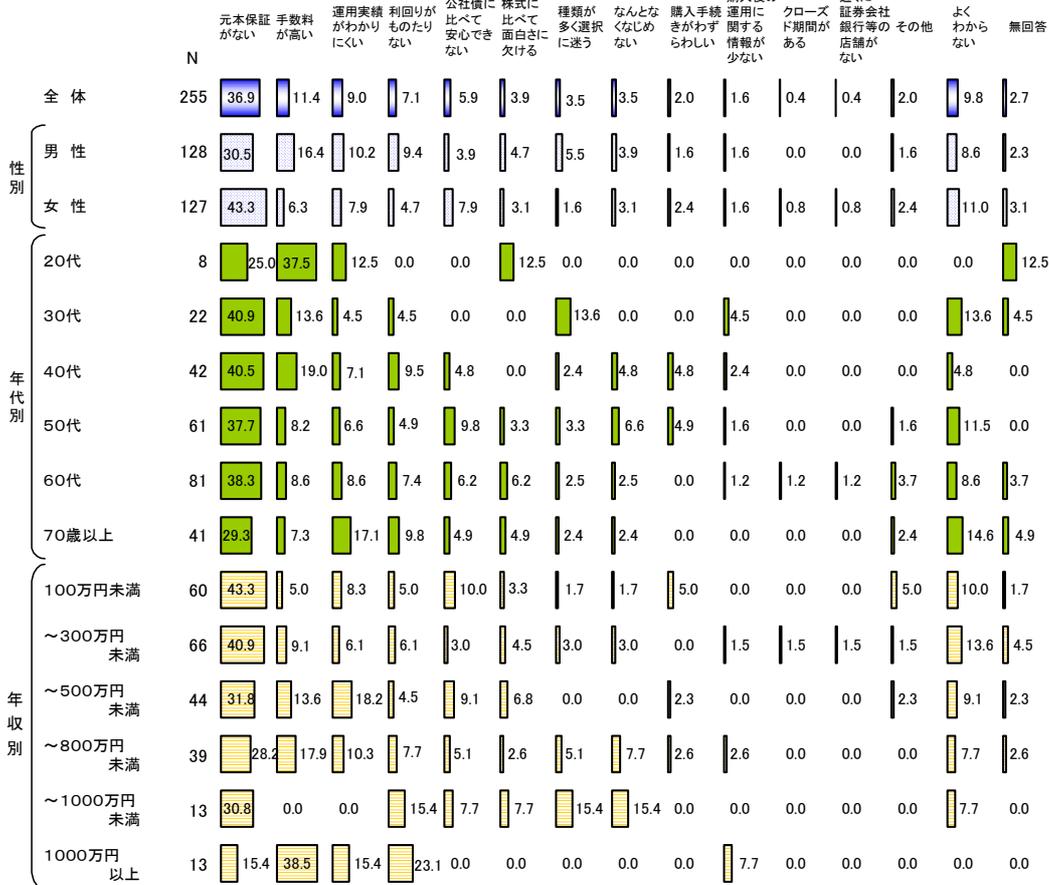


問 18②【投資信託の特に不満を感じる点(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1  
っ  
だ  
け

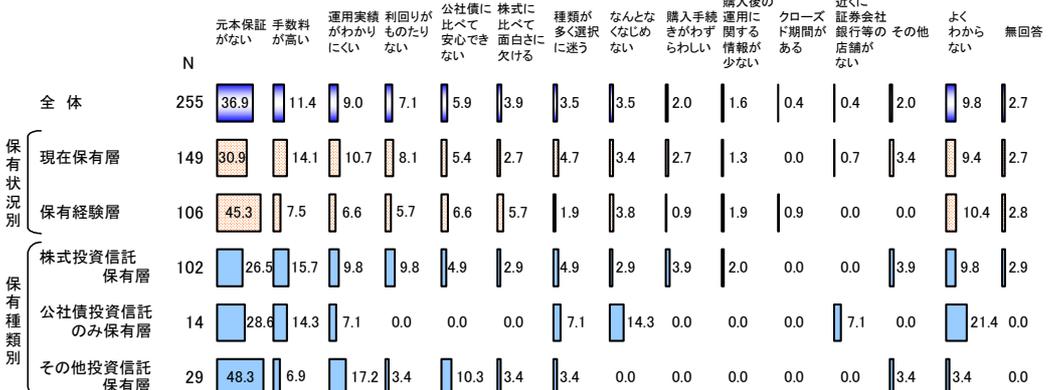


問 18②【投資信託の特に不満を感じる点(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1  
っ  
だ  
け



②投資信託投資合計額別の不満を感じる点(現在保有層)

投資信託現在保有層に限定して、投資信託への投資合計額別(12ページ参照)に、不満点(重複回答・単数回答)をみると、いずれの層でも「元本保証がない」が最も高い。

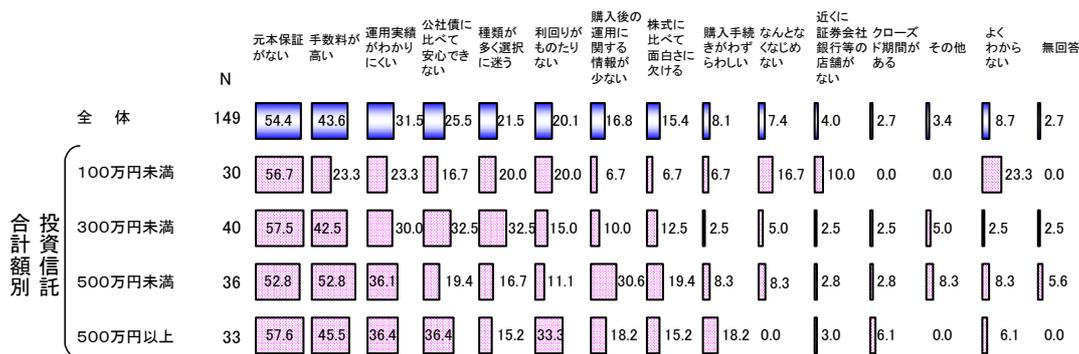
重複回答では、「手数料が高い」は合計投資額が100万円未満の層で低い。また、「種類が多く選択に迷う」は300万円未満の層で、「利回りがもの足りない」は500万円以上の層で高い。

なお、特に不満を感じる点(単数回答)をみても、「元本保証がない」が第1位、「手数料が高い」が第2位となっており、この2項目を合わせると45%ほどと半数弱を占める。

問18①【投資信託の不満を感じる点(重複回答)】投資信託投資合計額別

—現在保有層ベース

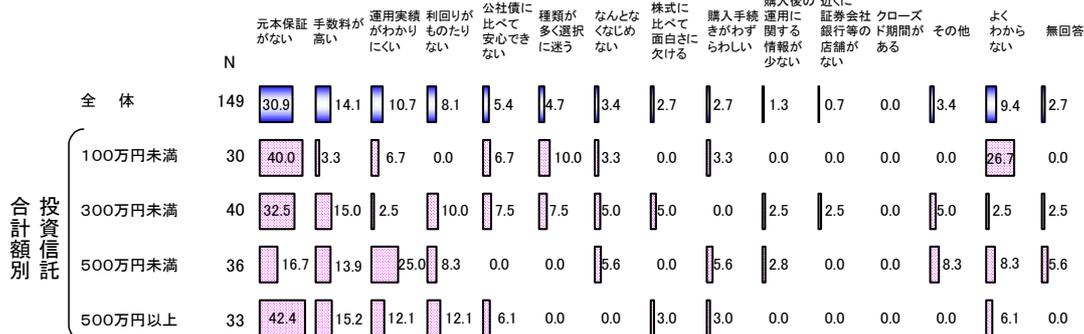
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問18②【投資信託の特に不満を感じる点(単数回答)】投資信託投資合計額別

—現在保有層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



## 5. 投資信託保有未経験者の状況

### (1) 投資信託の購入意向経験

投資信託を認知しているにも関わらず、これまでに投資信託を購入したことがない人に対し、投資信託を購入したいと思ったことがあるかを尋ねたところ、「ある」＝購入意向率は9.3%にとどまった。

時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別については、男女別では大きな差はみられない。年代別では、50代と70歳以上でやや低い傾向がみられる。

年収別は、300万円以上500万円未満と500万円以上800万円未満で、やや高い傾向がみられる。

投資信託への関心度別にみると、保有未経験層の中でも、投資信託に関心が高いほど購入意向率が高い傾向がみられ、投信関心層では3人に2人が購入意向を持っている。

問19【投資信託の購入意向(単数回答)／時系列－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

	N	ある	ない	無回答
平成22年	1145	9.3	90.7	0.1
平成20年	1182	9.1	90.4	0.4
平成19年	1220	12.7	87.3	0.0

問 19【投資信託の購入意向(単数回答)／対象者属性別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

		N	ある	ない	無回答	
全体		1145	9.3	90.7	0.1	
	性別					
	男性	575	8.9	91.1	0.0	
	女性	570	9.6	90.2	0.2	
年代別	20代	174	9.2	90.8	0.0	
	30代	276	10.1	89.5	0.4	
	40代	217	10.6	89.4	0.0	
	50代	190	6.3	93.7	0.0	
	60代	166	11.4	88.6	0.0	
	70歳以上	122	6.6	93.4	0.0	
	年収別	100万円未満	307	6.8	93.2	0.0
		300万円未満	310	8.7	91.3	0.0
500万円未満		210	11.4	88.6	0.0	
800万円未満		161	11.8	88.2	0.0	
1000万円未満		38	7.9	92.1	0.0	
1000万円以上		14	7.1	92.9	0.0	

問 19【投資信託の購入意向(単数回答)／対象者属性別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

		N	ある	ない	無回答
全体		1145	9.3	90.7	0.1
	保有状況別				
	保有未経験 ・投信関心層	77	66.2	33.8	0.0
	保有未経験 ・中間層	155	16.8	83.2	0.0
	保有未経験 ・非関心層	913	3.2	96.7	0.1

## (2) 投資信託の非購入理由

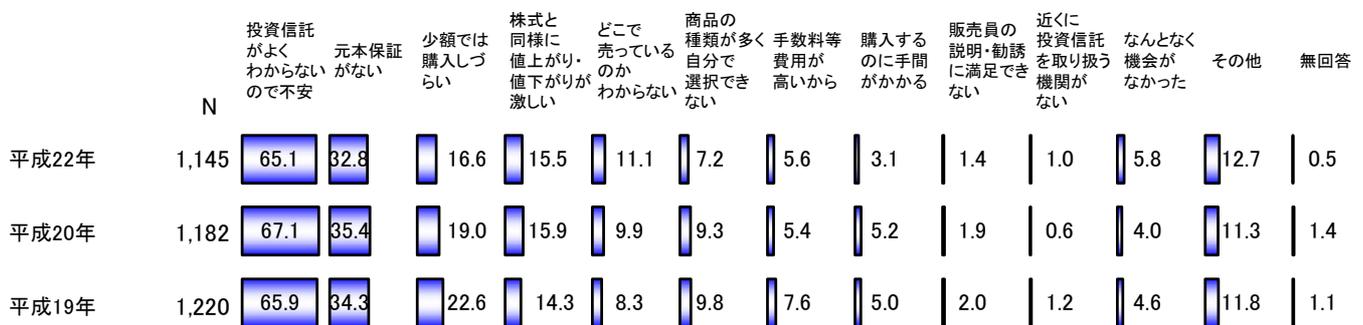
投資信託保有未経験者の投資信託を購入しなかった理由は、「投資信託がよくわからないので不安」が65.1%で特に高い。次いで「元本保証がない」が32.8%で続き、これら2つが主な理由となっている。

時系列でも、大きな変化はみられない。

投資信託への関心度別にみると、投資信託への関心の有無に関わらず、「投資信託がよくわからないので不安」が最大理由となっている。一方、「少額では購入しづらい」「株式と同様に値上がり・値下がりが激しい」「商品の種類が多く自分で選択できない」などでは投資信託に関心が高いほど高まる傾向がみられ、関心層は非関心層に比べ高いものが多く、多様な理由から購入をためらっている様子が見える。

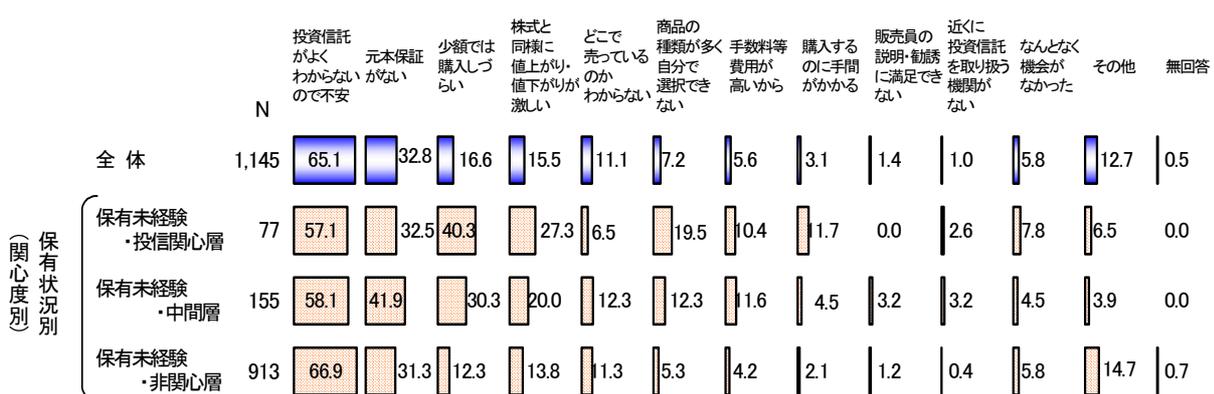
### 問 20【投資信託の非購入理由(重複回答)】時系列

#### — 投資信託認知者・保有未経験層ベース



### 問 20【投資信託の非購入理由(重複回答)】投資信託購入意向別

#### — 投資信託認知者・保有未経験層ベース



保有未経験を投資信託への関心度合いによって分けて、対象者属性別にみると、関心度合いに関わらず、「投資信託がよくわからないので不安」は男性より女性の方が高い。

投資信託への関心がある層では「手数料等費用が高いから」も女性の方が高い。

投資信託への関心がない層について、さらに詳しく対象者属性別にみると、性別では、先述の差以外には大きな差はみられない。

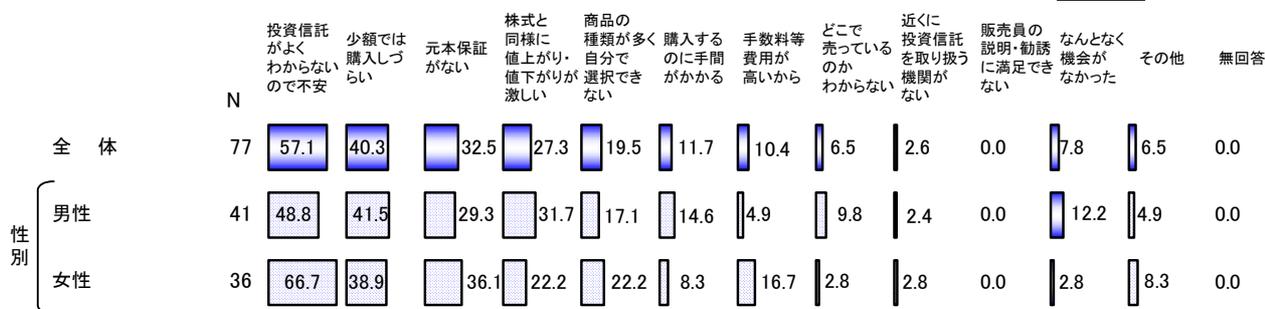
年代別では、「投資信託がよくわからないので不安」は年代が低い層ほど高い傾向がみられ、「どこで売っているのかわからない」も20～30代で他の年代と比較して高い。一方、「元本保証がない」は年代が上がるにつれ高まる傾向がみられ、「株式と同様に値上がり・値下がりが激しい」は70歳以上で特に高い。

年収別では、N数(サンプル数)が少ないため参考データとなるが、1000万円以上の層では「投資信託がよくわからないので不安」は低い。

地域別では大きな差はみられない。

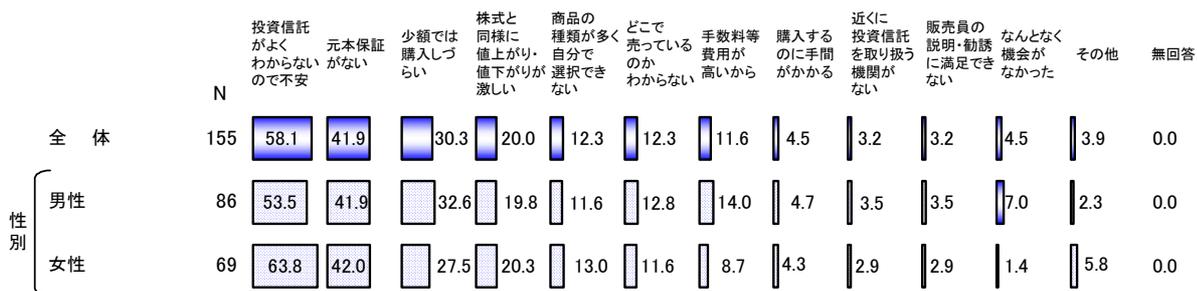
### 問 20【投資信託の非購入理由(重複回答)】／対象者属性別

#### －保有未経験・投信関心層ベース



### 問 20【投資信託の非購入理由(重複回答)】／対象者属性別

#### －保有未経験・投信関心中間層ベース



## 問 20 【投資信託の非購入理由(重複回答)／対象者属性別－投信非関心層ベース】

※ N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	投資信託がよくわからないので不安	元本保証がない	株式と同様に値上がり・値下がりが激しい	少額では購入しづらい	どこで売っているのかわからない	商品の種類が多く自分で選択できない	手数料等費用が高いから	購入するのに手間がかかる	販売員の説明・勧誘に満足できない	近くに投資信託を取り扱う機関がない	なんとなく機会がなかった	その他	無回答
全体	913	66.9	31.3	13.8	12.3	11.3	5.3	4.2	2.1	1.2	0.4	5.8	14.7	0.7
性別														
男性	448	62.3	33.7	14.7	14.5	11.6	5.6	4.7	2.7	1.6	0.4	5.6	15.2	0.7
女性	465	71.4	29.0	12.9	10.1	11.0	4.9	3.7	1.5	0.9	0.4	6.0	14.2	0.6
年代別														
20代	139	74.8	21.6	5.8	12.2	21.6	5.0	3.6	2.9	0.0	0.0	4.3	15.8	0.0
30代	214	70.1	25.7	10.7	13.1	15.9	4.7	5.6	2.8	1.9	0.5	7.0	12.1	0.5
40代	166	71.1	33.1	18.1	12.0	7.8	3.0	3.0	1.8	0.6	0.0	5.4	15.1	1.8
50代	163	65.6	35.0	17.2	11.7	10.4	7.4	4.9	1.2	0.6	0.6	4.3	17.2	0.6
60代	132	59.1	37.9	10.6	15.9	3.8	6.1	3.8	1.5	3.8	0.8	4.5	16.7	0.0
70歳以上	99	54.5	39.4	23.2	7.1	4.0	6.1	3.0	2.0	0.0	1.0	10.1	11.1	1.0
年収別														
100万円未満	254	71.3	24.8	13.4	10.2	11.4	7.5	2.8	1.2	0.8	0.4	5.1	16.9	0.8
～300万円未満	249	68.7	34.1	12.4	12.4	11.2	3.6	4.8	2.8	0.4	0.4	6.0	13.3	0.4
～500万円未満	156	64.7	27.6	14.1	15.4	14.1	5.8	6.4	3.8	0.6	0.0	7.7	14.7	0.0
～800万円未満	126	61.1	35.7	19.0	13.5	11.9	4.8	4.8	1.6	1.6	1.6	5.6	12.7	0.8
～1000万円未満	30	70.0	40.0	13.3	10.0	6.7	6.7	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0
1000万円以上	11	27.3	36.4	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	36.4	0.0
地域別														
首都圏	534	68.9	32.2	15.0	12.5	11.4	5.1	4.1	2.4	1.3	0.2	5.6	13.9	0.9
阪神圏	379	64.1	30.1	12.1	11.9	11.1	5.5	4.2	1.6	1.1	0.8	6.1	15.8	0.3